

官房ヨリ省内各課（法務局及軍事
 調査部）憲兵司令部（照會）
 別紙改正要領ニ基テ別冊陸軍報告規
 程改正案ニ對シ七月三日迄ニ責見承リ
 度
 追テ改正要領第一項ニ該當スル事
 項アラハ同時ニ申出テラレ度

陸普第四一九五號

昭和九年七月九日



陸軍報告規程改正要領

第一 改正方針及規程ノ構成

一 各種ノ定例報告(他ノ法令ニ規定スルモノヲ除ク)ヲ成ルヘク本規定ニ収録スル方針ヲ取レリ但シ目下研究中ノモノアリテ本案ノ報告事項ニ増加ヲ見ル豫定ナリ

二 本規定ニ依ル報告ヲ事務報告、軍事警察報告及特別報告ノ三種ニ分チ従來ノ官報報告ヲ官報掲載事務ノ爲メノ報告ト見做シ事務報告中ニ收容

シタリ

三 事務報告ノ月報、年報及臨時報ノ區分ヲ廢シ(従來ノ區分ハ嚴密ナルモノニ非スシテ

之ニ據ランカクメ大ナル不便ヲ感シタルニ由ル)人事、動員召集、徵募、經理、衛生、獸醫、刑罰、工場監督及其他ノ各種ニ區分シタリ(従来師團等ヨリ各報告ノ目的ヲ明示セラレ度キ希望アリシ點ヲモ同時ニ解決スルモノニシテ尙動員基準人員ノ基礎タル各教ノ數字ヲ統計資料ノ如ク思惟シタル弊ヲ同時ニ除キ得ルモノナリ)

四 本規程ニ依ル事務報告ハ大體ニ於テ輕易ナル報告ナルヲ以テ部隊ノ長官ヨリ報告スル規定ヲ改メテ部隊ヨリ提出スルフト爲シタリ

五⁷ メートル法實施ニ伴フ改正ヲ行ヒ用紙ヲ日本標準規格ニ據ラシムル如ク規定シタリ

第二條 文

一 報告ノ區分及其提出法ニ關シテハ第一道ヘタルカ如シ

ニ 舊第三條ノ提出部隊名ノ列記ヲ簡單ニシ陸軍大臣直轄ノ官衙學校ノ列記ヲ省略シタリ

侍從武官府ヨリ徵スヘキ報告ハ人事事務報告ノ一部ニ過キサルヲ以テ之ヲ省キ別ノ方法ヲ取ルコトトシ又臨時設置ノ部隊ニ對シテハ其ノ情況ニ適應スル如ク其ノ都度指示スルコトトシタリ

三 滿洲國ニ在ル部隊ハ暫定的ノ規定トシ概テ舊滿洲國陸軍師團ニ關スル規定ヲ滿洲國ニ發シタリ

四 報告主任ニ關スル規定ヲ廢シタリ

各師團等ニ於テ本規程ノ事務ヲ遂行スル手段ハ各師團等ノ任意ニシテ中央部

ヨリ特ニ規定スルハ適當ト認メ難キニ由ル 尚實際ニ於テハ副官一ヲ報告主任ニ定

メ置クタメ勅員事務ニ關スル報告ヲモ副官部ニ於テ扱フカ如キ弊アリタルヲ同時

ニ改ムルヲ得ルモノナリ

第三 事務報告

一 官報報告ヲ事務報告中ニ收メ又月報、年報及臨時報ノ區分ヲ廢シタルハ第一

ニ於テ述ヘタルカ如シ

二 表式詔例ナル語ヲ廢シ總テ様式トナシタリ

三 數種ノ報告ヲ括シテ彙送スル場合ノ方法ヲ各部隊ニ便ナル如ク改メタリ

第四 軍事警察報告

一 舊第十八條ニ於テ報告スヘキコトノミヲ規定シ其ノ内容ニ關レサリレモ附表第二ニ報告回数及内容ニ關スル規定ヲ定メタリ（其ノ内容ニ從來憲兵司令部ニ於テ不文律ニ實施シテ來リタリモノヲ基礎トシテ定メタルモノナリ）

第五 特別報告

一 兵務課ノ意見ニ依リ特別報告ヲ提出スヘキ事項ノ中ニ「重大ナル軍紀違反及事項」ヲ加ヘタリ

二 舊第十條ニ規定シタル細部ノ報告事項ヲ附表第三ニ移シ條文ヲ整理シタリ

第六 事務報告ノ様式

一 従來本省ニ於ケル主管課名ヲ記載シタルニ之ヲ省キタリ

二 調製部隊ト提出部隊(収總ニテ提出スル師團司令部等)トノ關係ヲ明カニシ執務ノ便ヲ計リタリ

三 本改正案ノ各様式ハ表々(表ニ附リ付ケルモ)成案ニ於テハ様式ノ各頁ヲ定メ各部隊ノ報告形式ノ統一ヲ計ル豫定ナリ(部隊ニヨリ毎表ノ收容欄區々ニシテ集計ニ不便ナリシヲ改メントスルモノナリ)

四 各様式ノ細部ニ関シテハ説明ヲ省ク

1370

陸軍報告規程改正案

陸軍報告規程

條文ノ新舊對照表ヲ末尾ニ挿入ス

第一條 平時陸軍ノ各部隊ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ提出スヘシ

第二條 本規程ニ依ル報告ハ特定ムルモノノ外左ノ部隊ヨリ之ヲ提出スルモ

ノトス 但シ軍事警察報告及特別報告ニ在リテハ部隊ノ長之ヲ報

告スルモノトス

師團司令部

軍司令部

憲兵司令部

陸軍大臣直轄官衙、學校

參謀本部

教育總監部

東京警備司令部

臨時設置ノ部隊ニ對スル本規程ノ適用ニ関シテハ別ニ指示ス

朝鮮及滿洲國ニ在ル師團ニ関スル報告ハ軍司令部ヲ經由スルコトナク當該

師團司令部ヨリ又滿洲國ニ在ル師團ノ留守部隊ニ関スル報告ハ當該師

團司令部留守部ヨリ之ヲ提出スルモノトス 但シ特別報告中朝鮮又ハ關

東州及滿洲國ノ防衛ニ関スルモノニ在リテハ朝鮮軍司令官又ハ關東軍司令官ヨリ報告スルモノトス

第三條 本規程ニ依ル報告ヲ事務報告、軍事警察報告及特別報告ニ分ツ各報告ノ報告事項ハ附表第一乃至第三ニ據ル但シ軍事警察報告及特別報告ニ在リテハ附表第二及第三ニ示スモノノ外必要ト認ムル事項アルトシハ本規程ニ準シ之ヲ報告スルモノトス

第四條 事務報告ハ本規程ニ定ムル様式ニ依リ之ヲ調製スルモノトス又様式中記例ヲモ示スモノニ在リテハ之ニ倣ヒ記載スルヲ要ス

第五條 事務報告ノ用紙ハ特ニ規定スルモノノ外日本標準規格第92號
B-4 又ハ B-5 (白紙又ハ罫紙)トス

第六條 事務報告ノ提出期日ハ發送期限ヲ以テ附表第一ニ之ヲ規定ス

軍事警察報告ハ毎月及毎年ノモノヲ取纏メ成ルヘク速ニ提出スルモノトス

特別報告ハ其ノ都度之ヲ提出スルモノトス但シ重要ナル事項ハ其ノ緩急ニ

從ヒ電話、電信又ハ文書ヲ以テ迅速ニ其ノ概要ヲ報告シ更ニ詳細ナル報告ヲ

提出スルモノトス

第七條 事務報告ヲ提出スルニハ同時ニ發送スルモノ毎ニ本規程ノ定ムル目錄ヲ

附
スル
モノ
トス


第八條 事務報告ニ於テ特業其他ヲ畧符號ヲ以テ記載スル場合ハ大

正十三年陸達第六號ニ據ルモノトス

第九條 動員部隊ニ對シテハ動員第八日ヨリ復員完結ノ當日迄本規

程ノ適用ヲ停止ス臨時編成部隊等ニ對シテハ別ニ之ヲ指示ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="534 470 1353 712"><tr><td data-bbox="579 501 730 663">1</td><td data-bbox="730 501 874 663">2</td><td data-bbox="874 501 1018 663">3</td><td data-bbox="1018 501 1161 663">4</td><td data-bbox="1161 501 1305 663">5</td></tr></table>	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため					
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 5 年 9 月 17 日 主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 						

陸軍報告規程改正案ト現行規程トノ對照

現行規程

第一章 總則

第三條 本規程ハ陸軍部隊ノ長官ヨリ提出スヘキ報告事項ニ係ルモ其ノ規定スルモトス

第三條 本規程ニ依ル報告ハ之ヲ事務報告官報報告及特別報告ニ分ツ

改正案

(章ヲ廢ス以下同シ)

第二條 平時陸軍ノ各部隊ハ本規程ノ定ル所ニ依リ報告ヲ提出スヘシ

第三條 本規程ニ依ル報告ヲ事務報告軍事警察報告及特別報告ニ分ツ各報告ノ報告事項ハ附表第一乃至第三ニ據ル但シ軍事警察報告及特別報告ニ在リテ附表第二及第三ニ示スモノノ外必要ト認ムル事項アルトキハ本規程ニ準シ之ヲ報告スルモノトス

第三條 本規程ニ依ル報告中表式記例ニ於テ提出部隊隊名ヲ示ササルモノハ其ノ主管ニ從ヒ左ニ掲クル部隊ヨリ之ヲ提出スルモノトス但シ陸軍經理部條例第三條ノ事項ニ係ルモノハ當該經理部ヨリ之ヲ提出スルモノトス

師團司令部
憲兵司令部
陸軍航空本部
陸軍技術本部
築城部本部
軍馬補充部本部
陸軍兵器本廠
陸軍金庫本廠
陸軍運輸部
陸軍衛生材料廠
陸軍被服本廠
陸軍糧秣本廠
牛込製絨所
參謀本部
教育總監部
東京警備司令部
陸軍經理學校
陸軍軍醫學校
陸軍獸醫學校
侍從武官府
東京武官

第三條 本規程ニ依ル報告ハ特ニ定ムルモノノ外左ノ部隊ヨリ之ヲ提出スルモノトス但シ軍事警察報告及特別報告ニ在リテハ部隊ノ長之ヲ報告スルモノトス

師團司令部
軍司令部
憲兵司令部
陸軍大臣直轄官衙學校
參謀本部
教育總監部
東京警備司令部

臨時設置ノ部隊ニ對スル本規程ノ適用ニ關シテハ別ニ指示ス

朝鮮及滿洲國ニ在ル師團ニ關スル報告ハ軍司令部ヲ經由スルコトヲ當該師團司令部ヨリ又滿洲國ニ在ル師團ノ留守部隊ニ關スル報告ハ當該師團司令部留守部ヨリ之ヲ提出スルモノトス但シ特別報告中朝鮮又ハ關東州及滿洲國ノ防衛ニ關スルモノニ在リテハ朝鮮軍司令部又ハ關東軍司令部ヨリ報告スルモノトス

(臨時設置ノ部隊ニ關シテハ第三條第一項ニ規定ス)

(第三條第二項)

支那駐屯軍司令部
臨時設置ノ部隊

第四條 本規程ニ依ル報告中朝鮮ニ在ル師團ニ係ルモノハ朝鮮軍司令部ヲ經由セス當該師團司令部ヨリ又滿洲駐屯師團ニ係ルモノハ關東軍司令部ヲ經由セス當該師團司令部ヨリ同留守部隊ニ係ルモノハ當該師團司令部ヨリ同留守部ヨリ之ヲ提出スルモノトス但シ第十七條ノ特別報告中朝鮮ノ防衛又ハ關東州ノ防衛及南滿洲ニ在ル鐵道ノ保護ニ關スルモノニ在リテハ朝鮮軍司令部又ハ關東軍司令部ヨリ報告スルモノトス

- 參謀本部
- 教育總監部
- 東京警備司令部
- 陸軍經理學校
- 陸軍軍醫學校
- 陸軍獸醫學校
- 侍從武官府
- 東宮武官
- 朝鮮軍司令部
- 臺灣軍司令部
- 關東軍司令部
- 支那駐屯軍司令部
- 臨時設置ノ部隊

支那駐屯軍司令部
臨時設置ノ部隊

第四條 本規程ニ依ル報告中朝鮮ニ在ル師團ニ(第三條第二項)

係ルモノハ朝鮮軍司令部ヲ經由セス當該師團司令官ヨリ又滿洲國ニ在ル師團ノ留守部隊ニ關スル報告ハ當該師團司令官留守部ヨリ之ヲ提出スルモノトス但シ特別報告中朝鮮又ハ關東州及滿洲國ノ防衛ニ關スルモノニ在リテハ朝鮮軍司令部又ハ關東軍司令部ヨリ報告スルモノトス

表式記例ナル形式ヲ廢シ全部様式トナシ改正案第百條ニ之ヲ規定ス

各報告ノ提出期日ニ關スル規定ヲ新設シテ第六條トス

第五條 第三條ノ部隊ニ於テハ高等官ノ内報告主任一名ヲ定メ本規程ニ依ル報告事務ヲ取扱ハシムヘシ

第六條 本規程ハ戰時又ハ事變ニ際シ編成シテル部隊ニ對シテハ動員又ハ編制ノ第一ヨリ復員若ハ解隊完結ノ當日迄之ヲ適用セス戰備又ハ應急配備ヲ為シタルモノニ在リテモ亦之ニ準ス

第二章 事務報告

第七條 事務報告ハ之ヲ月報、半年報、年報及臨時報ニ分テ其ノ報告事項ハ表式記例ニ依リ記載スヘシ

事務報告各様式ノ右下方欄外ニ規程第二條ノ提出部隊名ヲ記載スヘキコトヲ規定ス

第八條 事務報告ノ發送期限ハ表式記例ニ定ムル所ニ依ル

朝鮮及滿洲國ニ在ル師團ニ關スル報告ハ軍司令部ヲ經由スルコトヲ當該師團司令官ヨリ又滿洲國ニ在ル師團ノ留守部隊ニ關スル報告ハ當該師團司令官留守部ヨリ之ヲ提出スルモノトス但シ特別報告中朝鮮又ハ關東州及滿洲國ノ防衛ニ關スルモノニ在リテハ朝鮮軍司令部又ハ關東軍司令部ヨリ報告スルモノトス

(臨時設置ノ部隊ニ關シテハ第三條第一項ニ規定ス)

第五條 事務報告ハ本規程ノ定ムル様式ニ依リ之ヲ調製スルモノトス又様式中記例ヲモ示スモノニ在リテハ之ニ倣ヒ記載スルヲ要ス

第六條 事務報告ノ提出期日ハ發送期限ヲ以テ附表第一ニ之ヲ規定ス

軍事警察報告ハ毎月及毎年ノモノヲ取纏メ成ルハク速ニ提出スルモノトス
特別報告ハ其ノ都度之ヲ提出スルモノトス但シ重要ナル事項ハ其ノ緩急ニ從ヒ電報、電信又ハ文書ヲ以テ迅速ニ其ノ概要ヲ報告シ更ニ詳細ナル報告ヲ提出スルモノトス

(削除)

第九條 動員部隊ニ對シテハ動員第一ヨリ復員完結ノ當日迄本規程ノ適用ヲ停止ス臨時編成部隊等ニ對シテハ別ニ之ヲ指示ス

月報、半年報、年報及臨時報ノ區分ヲ發ス事、動員召集、徵募、經理、衛生、獸醫、刑罰、工場監督、其他ノ九類ニ分テ附表第一ニ之ヲ示ス表式記例ニ關シテハ第四條ニ規定ス

事務報告各様式ノ右下方欄外ニ規程第二條ノ提出部隊名ヲ記載スヘキコトヲ規定ス

第十條 事務報告ニ於テ特業其他ヲ略符號ヲ以テ記載スル場合ハ大正十三年陸軍第六號ニ據ルモノトス

(削除)

第七條 事務報告ハ之ヲ月報、半年報、年報
及臨時報ニ分テ其ノ報告事項ハ表式記例
ニ依リ記載スヘシ

事務報告ニ提出部隊名ノ欄第三條ノ部
隊名ヲ記載スヘシ所管内各部隊ニ於テ調製
シタルモノヲ取纏メ提出スルトキ亦同シ
特業其他ヲ略符號ヲ以テ記スル場合ニハ大
正十三年陸連第六號ニ依ルモノトス

第八條 事務報告ノ發送期限ハ表式記例ニ
定ムル所ニ依ル但シ朝鮮ニ在ル部隊ニ係ルモ
ハ八指定ノ期日ヨリ十五日第四條里ニ在
ルニテハ二十日臺灣ニ在
ル部隊及滿洲其他外國ニ駐劄スル部隊ニ
係ル第四表甲七目ヲ延長スルコトヲ得

第九條 事務報告ハ發送期限ノ異ナル毎ニハ
按シテ所定ノ様式ニ依リ目錄ヲ附スヘシ報告
スヘキ事項ナク又ハ期限内ニ發送シ難キ場合
ニハ前項目錄中ニ其ノ表名等ヲ掲ケ其下
ニ報告スヘキ事項ナキモノニ在リテハ「ナシ」期
限内ニ發送シ難キモノニ在リテハ「何ノ事由ニ
依リ遲延何月何日迄ニ發送ノ見込」ト朱書
スヘシ

第十條 期限ヲ過キ發送スル報告ニ在リテモ
前條ニ準ジテ目錄ヲ附スヘシ

第十一條 事務報告用紙ハ表式記例中特ニ規
定アルモノ並特別ノ紙幅ヲ要スルモノヲ除クノ
外美濃判表ハ美濃半裁判ノモノヲ用ウヘ
シ

第三章 官報報告

第十二條 官報報告ハ官報ニ掲載スル爲左ニ
掲グル事項ヲ表式記例ニ依リ一事項毎ニ
各別ノ用紙ニ記入シ第五條ノ報告主任ヨリ
陸軍省官報報告主任ニ送付スルモノトス

- 一 兵營師團司令部、旅團司令部、中隊司令部、官衙及學校ノ設置、
移轉、事務開始並閉鎖
 - 二 將校同相當官轉役
 - 三 將校同相當官待命滿期、高等文官
休職滿期
 - 四 高等官改名
 - 五 高等官失官
 - 六 高等官死亡
 - 七 學生、生徒及修業員入校（入隊）、
卒業（修學終了）
 - 八 蹄鐵術卒業
 - 九 軍人軍屬暴徒匪徒蕃入等討伐
中死亡
 - 十 簡閱點呼施行日割
- 前項ノ外官報掲載ノ必要アルモノハ前項章
シ報告ヲ調製シ陸軍省官報報告主任ニ
送付スヘシ

月報、半年報、年報及臨時報ノ區分ヲ廢スノ事
動員召集、徵募、經理、衛生、獸醫、刑罰、工場
監督、其他ノ九類ニ分テ附表第一ニ之ヲ示ス
表式記例ニ由リテハ第四條ニ規定ス

事務報告各様式ノ右下方欄外ニ規程第二
條ノ提出部隊名ヲ記載スヘキコトヲ規定ス

第十條 事務報告ニ於テ特業其他ヲ略符號
ヲ以テ記載スル場合ハ大正十三年陸連第六
號ニ據ルモノトス

（削除）

第十一條 事務報告ヲ提出スルハ之ニ所定ノ目
録ヲ附スヘシ

（削除）

第十二條 事務報告ノ用紙ハ特ニ規定スルモノノ外
日本標準規格第92號B4又B5（白紙）又ハ
罰紙トス

（官報報告ヲ事務報告第九其他ノ事
務報告ノ中ニ收ム）
（様式雜第一〇ノ號ニ規定ス）

第三條 官報報告ハ官報ニ掲載スル為左ニ

掲ル事項ヲ表式記例ニ依リ一事項毎ニ

各別ノ用紙ニ記入シ第五條ノ報告主任ヨリ

陸軍省官報報告主任ニ送付スルモトス

一 兵營 師團司令部旅團司令部 官衙及學校ノ設置

移轉、事務開始、並閉鎖

二 將校同相當官轉役

三 將校同相當官待命滿期、高等文官
休職滿期

四 高等官改任

五 高等官失官

六 高等官死亡

七 學生生徒及修業員入校（入隊）、
卒業（修學終了）

八 蹄鐵術卒業

九 軍人軍屬暴徒匪徒蕃入等討伐
中死亡

十 簡閱點呼施行日割

前項ノ外官報掲載ノ必要アルモノハ前項準

シ報告ヲ調製シ陸軍省官報報告主任ニ

送付スヘシ

第十四條 官報報告ニハ欄外右下方ニ第三條ノ
提出部隊名ヲ記載スヘシ所管内各部隊ニ於

テ調製シタルモノヲ取纏メ提出スルトキ亦同シ

第十五條 官報報告用紙ハ昭和五年陸軍省第

三六九一號ニ依ルモノトス

第十六條 前三條ノ規定ハ各部隊ヨリ官報ニ掲

載スヘキ廣告ニシテ準用ス但官報掲載日、

指定アルモノハ指定日ヨリ休日ヲ除キ二日前ハ

到着スル如ク發送スヘシ

第四章 特別報告

第十七條 特別報告ハ左ニ掲クル事項ヲ報告スル

モノトス

一 事変、天災、火災、盜難、重要物件ノ亡

失、変死等ニ關スル事項

二 軍事警察ニ關スル事項

第十八條 事変、天災、火災、盜難、重要物件ノ亡、

変死等ニ關スル報告ハ左ノ事項ヲ記載シ其

ノ都度報告スルモノトス

一 事変ニ關スル報告ニ在リテハ其ノ發生月

日時、原因、狀況及處置等

二 天災ニ關スル報告ニ在リテハ其ノ發生月

日時、罹災場所、人馬死傷數、動産不

動産被害ノ狀況及程度 土地ニ在リテハ

構造、種類、 損害見積價格、處置取復舊

及埋設トモ 損見積價格、被害物

ノ要否等

三 火災ニ關スル報告ニ在リテハ火場所、出火

及鎮火ノ月日時、狀況、原因、人馬死傷數、

罹災建造物ノ名稱、構造、種類及坪

數 全焼半焼及 損見積價格、被害物

破壊ニ付 損見積價格、被害物

ノ要否等

務報告ノ中ニ收ム
（様式雜第一〇二號ニ規定ス）

（前同斷）

（前同斷）

（前同斷）

特別報告中軍事警察報告ヲ獨立セム（第
三條）

（附表第三ニ規定ス）

（前同斷）

（前同斷）

第十七條 特別報告ハ左ニ掲グル事項ヲ報告スルモノトス

一 事変、天災、火災、盜難、重要物件ノ亡失、變死等ニ關スル事項

二 軍事警察ニ關スル事項

第十八條 事変、天災、火災、盜難、重要物件ノ亡失、變死等ニ關スル報告ハ左ノ事項ヲ記載シ其ノ都度報告スルモノトス

一 事変ニ關スル報告ニ在リテハ其發生月日時、原因、狀況及處置等

二 天災ニ關スル報告ニ在リテハ其發生月日時、罹災場所、人馬死傷數、動産不動産被害ノ狀況及程度

三 火災ニ關スル報告ニ在リテハ出火場所、出火及鎮火ノ月日時、狀況、原因、人馬死傷數、罹災建造物ノ名稱、構造ノ種類及坪數、全焼、半焼及破損ニカツ損害見積價格、被害物品及其價格、延焼ノ理由、例ハ強風、消火設備ノ不備等處置、復舊ノ要否並責任者ノ處分等

四 盜難ニ關スル報告ニ在リテハ盜難場所、月日時、狀況、原因、被害物品及其價格、處置並責任者ノ處分等

五 重要物件ノ亡失ニ關スル報告ニ在リテハ前條ニ準スル事項

六 軍人軍屬變死ニ關スル報告ニ在リテハ變死者ノ官、等級、姓名、死者ニ在リテハ所屬部隊、變死ノ月日時、場所、手段、自殺セシトシテハ其名稱、場所トモ、平素素メハ變死前後ニ於テ參考ト爲ルハモ、事項、原因、故意過失不可抗力及既遂未遂、區別、處置並責任者ノ處分等

七 其ノ他特別報告ヲ要スルモノニ在リテハ前諸條ニ準シ必要ノ事項

第十九條 軍事警察ニ關スル報告ニ在リテハ各憲兵隊管内ニ於ケル軍紀風紀、其他軍事警察上必要ト認ムル事項ヲ三月毎ニ憲兵司令官及支那駐屯軍司令官ヨリ報告スルモノトス

第二十條 特別報告中重要ナル事項ハ其ノ緩急ニ從ヒ電報、電信又ハ文書ヲ以テ迅速ニ其ノ概要ヲ報告シ更ニ詳細ナル報告ヲ提出スヘシ

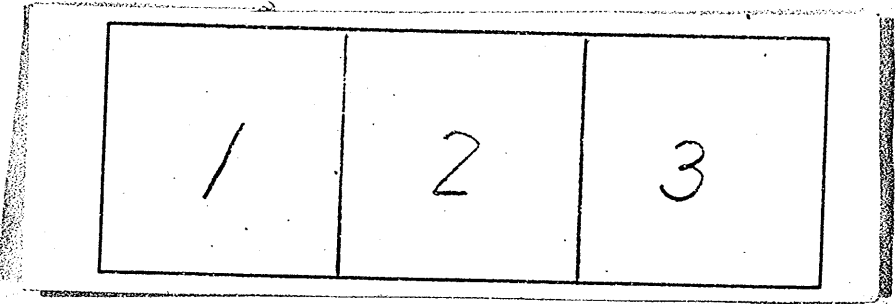

三條 (附表第三規定ス)

(前同斷)

(附表第三規定ス)

(第六條ニ規定ス)

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

事務報告

報告事項

樣式番號

報告回数

提出期限

第一 人事事務報告

高等官改任名報告
 高等官 死亡報告
 高等官 失官報告
 現役將校同相當官准士官年滿限報告
 在職後備將校同相當官准士官後備將校滿期報告
 將校同相當官待命滿期(高等文官休職滿期)報告
 將校同相當官轉任報告
 身上異同報告
 將校同相當官學生半途退學(帶學)報告

第二 動員召集事務報告

豫備後備將校同相當官人員表
 待命休職停職豫備後備將校准士官人員表
 豫備後備將校下士官人員表
 歸休兵並豫備後備將校兵人員表
 第一補充兵人員表
 現役下士官豫備後備將校轉入豫定人員表
 在營兵歸休並豫備將校轉入豫定人員表
 演習召集該當者人員表
 演習召集及教育召集豫定期日表
 勤務演習免除及補豫人員表
 演習教育召集結果表

第三 徵募事務報告

短期現役兵人員表
 短期現役兵服役結果表
 現役下士官減員表
 定員過剩歸休人員表
 家事故障現役免除人員表
 現役兵青年訓練程度調查表

第四 經理事務報告

委任經理積立金現在高表
 被服資產狀況調查表
 糧秣購買平均價格表
 糧食給與分量表
 建物新築單價表
 主要建築材料價格表
 主要職工人夫其他資金表
 建造物履歷表
 物件購入(賣却)契約調查書
 海外拂實績調查書

第五 衛生事務報告

衛生記事

動第一號	年	五月十五日
動第二號	年	同
動第三號	年	同
動第四號	年	同
動第五號	年	同
動第六號	年	同
動第七號	年	同
動第八號	年	十二月十五日
動第九號	年	三月十五日
動第十號	年	翌年二月十五日
動第十一號	年	同
徵第一號	年	四月三十日
徵第二號	年	十一月三十日
徵第三號	年	翌年十一月三十日
徵第四號	年	十二月十五日
徵第五號	年	同
徵第六號	年	翌年四月十五日
經第一號	年	十二月二十日
經第二號	其都度	調查後十日以内
經第三號	年	四月十五日
經第四號	月	翌月十五日
經第五號	年	四月十五日
經第六號	年	同
經第七號	年	同
經第八號	五ヶ年毎	六月十五日
經第九號	二ヶ月毎	翌月十五日
經第十號	三ヶ月毎	翌月十日
衛第一號	其都度	翌年三月十五日

演習召集該當者人員表
 演習召集及教育召集豫定期日表
 勤務演習免除及猶豫人員表
 演習教育召集結果表

第三 徵募事務報告

短期現役兵人員表
 短期現役兵服役結果表
 現役下士官減員表
 定員過剩歸休人員表
 家事故障現役免除人員表
 現役兵青年訓練程度調查表

第四 經理事務報告

委任經理積立金現在高表
 被服資產狀況調查書
 糧秣購買平均價格表
 糧食給與分量表
 建物新築單價表
 主要建築材料價格表
 主要職工人夫其他貨金表
 建造物履歷表
 物件購入(賣却)契約調查書
 海外拂實績調查書

第五 衛生事務報告

衛生記事
 下士官兵患者表
 月別新患死亡及除役表
 除役(諸生徒免除)(死亡)表
 自殺(不慮死亡)表
 陸軍共濟組會員患者表
 諸兵體格表
 士官候補生士官學校豫科生徒幼年學校生徒體格表
 衛戍病院入院患者表
 公傷病再發者服役免除者並自費入院者收療表
 投藥日數表
 還送患者表
 衛生材料藥物(消耗品)消費表
 壯丁病類表
 壯丁ト下士官及花柳病患者表
 帶患入營兵歸郷及除役表

第六 獸醫事務報告

軍馬現數表
 軍馬補充部保管馬雜役馬耕馬現數表
 貸附豫備馬現數表
 軍馬年齡別表
 軍馬體高別表
 軍馬購買賣却頭數及金額表
 軍馬衛生記事
 獸醫事務報告
 病馬表
 貸付豫備馬並廢斃馬使用年別表
 獸醫材料藥物(消耗品)消費表
 蹄鐵受拂表

動第八號	年	十二月十五日
動第九號	年	三月十五日
動第十號	年	翌年三月十五日
動第十一號	年	同
徵第一號	年	四月三十日
徵第二號	年	十一月三十日
徵第三號	年	翌年一月三十日
徵第四號	年	十二月十五日
徵第五號	年	同
徵第六號	年	入營期後至翌月止

經第一號	年	十二月二十日
經第二號	其都度	調査後十日以内
經第三號	年	四月十五日
經第四號	月	翌月十五日
經第五號	年	四月十五日
經第六號	年	同
經第七號	年	同
經第八號	五ヶ年毎	六月十五日
經第九號	二ヶ月毎	翌月十五日
經第十號	三ヶ月毎	翌月十日

衛第一號	其都度	翌年三月十五日
衛第二號	年	月報ニ在リテ翌月十五日
衛第三號	年	年報ニ在リテ翌年一月十五日
衛第四號	年	同
衛第五號	年	同
衛第六號	年	五月十五日
衛第七號	年	翌年一月二十日
衛第八號	年	同
衛第九號	年	翌月十日(十二月分ニ限リ一月十五日)
衛第十號	年	同
衛第十一號	年	五月十五日
衛第十二號	年	十二月十五日
衛第十三號	年	五月十五日
衛第十四號	年	検査終了後三十日以内
衛第十五號	年	同
衛第十六號	年	最後入營期翌月末日

獸第一號	年	翌年一月二十日
獸第二號	年	同
獸第三號	年	同
獸第四號	年	翌年一月三十日
獸第五號	年	同
獸第六號	年	五月十五日
獸第七號	年	翌年一月二十日
獸第八號	月	翌月十五日(十二月分ニ限リ一月十五日)
獸第九號	年	翌年一月二十日
獸第十號	年	同
獸第十一號	年	五月十五日
獸第十二號	年	同

衛生材料藥物(消耗品)消費表
 壯丁病類表
 壯丁トラホーム及花柳病患者表
 帶患入營兵歸郷及除役表

第六 獸醫事務報告

軍馬現數表

軍馬補充部保管馬雜役馬耕馬現數表

貸附豫備馬現數表

軍馬年齡別表

軍馬體高別表

軍馬購買賣却頭數及金額表

軍馬衛生記事

獸醫事務報告

病馬表

貸付豫備馬並廢斃馬使用年別表

獸醫材料藥物(消耗品)消費表

蹄鐵受拂表

第七 刑罰事務報告

軍人懲罰人員表

軍法會議刑事被告人名票

裁判宣告報告

衛戍刑務所(拘禁所)在監人員表

衛戍刑務所(拘禁所)平均一日既決在監人員入監度數別表

衛戍刑務所(拘禁所)在監者傷病表

衛戍刑務所(拘禁所)在監者賞罰表

衛戍刑務所(拘禁所)在監者就業人員作業收入及作業賞與金表

刑事補償事件報告

第八 工場監督事務報告

工場法適用工場職工表

工場法適用工場職工貯金表

工場法適用工場職工扶助件數表

工場法適用工場職工扶助金額及休業扶助料支給延日數表

工場法適用工場職工歸郷旅費表

工場法適用工場職工火害表

工場法適用工場病傷類別表

工場法適用工場病傷類別患者、結末療養及休業日數表

職工死傷報告

工場災害事故報告

第九 其他事務報告

軍人人員表

准士官下士官陸軍文官待遇過者人員表

屬託雇員傭人職工表

軍人平均一日人員表

學校卒業人員表

官報掲載事項報告

衛第一三號 年 五月十五日
 衛第一四號 年 検査終了後三十日以内
 衛第一五號 年 同
 衛第一六號 年 最後入營期翌月末

獸第一號 年 翌年一月二十日

獸第二號 年 同

獸第三號 年 同

獸第四號 年 翌年八月三十日

獸第五號 年 同

獸第六號 年 五月十五日

獸第七號 年 翌年一月二十日

獸第八號 月 翌月十五日(十二
月分三限り一月十五日)

獸第九號 年 翌年一月二十日

獸第一〇號 年 同

獸第一一號 年 五月十五日

獸第一二號 年 同

刑第一號 月 翌月二十日

刑第二號 月 翌月十五日(十二
月分三限り一月二十日)

刑第三號 其、都度 同

刑第四號 年 同

刑第五號 年 翌年一月二十日

刑第六號 年 同

刑第七號 年 同

刑第八號 年 同

刑第九號 其、都度 裁判告知後五日以内

工第一號 年 十月三十日

工第二號 年 同

工第三號 年 翌年一月三十日

工第四號 年 同

工第五號 年 同

工第六號 年 同

工第七號 年 同

工第八號 年 同

工第九號 其、都度 調査後七日以内

工第十號 其、都度 同

雜第一號 年 四月十五日

雜第二號 年 翌年一月二十日

雜第三號 年 翌年一月三十日

雜第四號 月 翌月二十日

雜第五號 年 翌年二月十五日

雜第六號 其、都度

雜第七號

雜第八號

雜第九號

備考 報告回数中、年六、毎年三一回、月六、毎月一回報告スヘキコトヲ示ス

附表第二

軍事警察狀況報告

一憲兵司令官ハ管內ニ於ケル毎月及毎年ノ軍紀風紀其ノ他軍事警察上必要ト認ムル事項ヲ左ノ項目ニ分テ報告スルモノトス

(一) 一般狀況

(三) 常人ノ軍事關係非違ノ狀況

(二) 軍人軍屬ノ狀況

(1) 犯罪

(1) 犯罪

(2) 警察罰

(2) 警察罰

(3) 説諭

(3) 非違

(四) 軍隊ト地方トノ關係

(4) 逃亡離隊

(1) 親善事項

(5) 變死

(2) 係争事項

(6) 善行

(3) 地方被害

毎月ノ報告ニハ左ノ調査表ヲ添附スルヲ要ス

軍人軍屬犯罪表

所管、罪名、所屬、役種官等級人員、犯行月日、

同 警察罰表

犯行ノ概要、處置、處分ノ結果ニ分テ事件ヲ

同 非行表

列記ス

常 人犯罪表

罪名、職業及男女別人員、犯行月日、犯行ノ概要、

同 警察罰表

處置ニ分テ事件ヲ列記ス

ニ關東軍司令官及支那駐屯軍司令官ハ概木ニ準シ報告スルモノトス

附表第三

特別報告報告事項

備考	邊犯事項	事變	天災	火災	盜難又ハ重要物件亡失	軍人軍屬ノ變
<p>本表ノ報告事項ノ外特別ニ報告ヲ要スル事項ニ在リテハ本表ノ報告事項ニ準シテ報告内容ヲ決定スルモノトス</p>	<p>○邊犯事項ノ概要</p> <p>○原 因</p> <p>○動 機</p> <p>○處 置</p> <p>○其他ノ必要ナル事項</p>	<p>○發生月日時</p> <p>○原 因</p> <p>○狀 況</p> <p>○處 置</p> <p>○其他ノ必要ナル事項</p>	<p>○發生月日時</p> <p>○罹災場所</p> <p>○人馬死傷狀況</p> <p>○動産不動産被害狀況及程度</p> <p>○其他ノ必要ナル事項</p>	<p>○出火場所</p> <p>○火災發生月日時</p> <p>○原 因</p> <p>○狀 況</p> <p>○人馬死傷狀況</p> <p>○罹災建築物ノ名稱・構造・種類及棟数(全焼・半焼及破壊ニ分シ)</p> <p>○損害見積價格</p> <p>○被害物品及其價格</p> <p>○延焼ノ理由(例ハハ 強風・消防設備不備等)</p> <p>○處 置</p> <p>○其他ノ必要ナル事項</p>	<p>○盜難又ハ亡失ノ場所</p> <p>○日 時</p> <p>○原 因</p> <p>○狀 況</p> <p>○被害物品及其價格</p> <p>○處 置</p> <p>○責任者・處分</p> <p>○其他ノ必要ナル事項</p>	<p>○官 等</p> <p>○氏名(兵ニ在リテハ兵隊年共)</p> <p>○所 屬 部 隊</p> <p>○月 日 時</p> <p>○場 所</p> <p>○手段(銃ニテ自殺シタルモノニ在リテハ彈藥ノ出所・其他ノ器具・藥品ニテ自殺シタルモノニ在リテハ其ノ名稱出所共)</p> <p>○平素又ハ變死前後ニ於テアル特異事項</p> <p>○原 因</p> <p>○故意又ハ不可抗力</p> <p>○既遂未遂ノ別</p> <p>○處 置</p> <p>○責任者・處分</p> <p>○其他ノ必要ナル事項</p>

様式人第(號)

(規程第二條ノ提出部隊名)

高等官改姓(改名)報告

事務報告各様式ノ附録ニハ本様式、如ク右下方
欄外ニ規程第二條ノ提出部隊名ニ付テ附ス

役種 官 氏 名

生年月日

右何月何日何ト改姓(某ト改名)セリ

年 月 日

注意

一 本報告ハ現役、豫備役、後備役、將校、同相當官、退役將官、同
相當官位、在職、休職、高等文官及法務官、試補ノ改姓名ヲ
報告スルモノトス

二 改姓名者ノ官、爵ヲ記入シ且將校、同相當官ニ在リテハ
現役、豫備役、後備役、退役ノ區別、高等文官ニ在リテ
ハ在職、休職ノ區別ヲ記入ス

高等官死亡報告

役種、官位、勲、功學位、爵 氏 名

衣何月何日薨去（卒去、死去）セリ

年 月 日

注意

- 一 本報告ハ現役、豫備役、後備役、特技、同相當官、退役將官、同相當官、並在職、休職、高等文官、及法務官、試補ノ死亡ヲ報告スルモノトス
- 二 死亡者ノ官位、勲、功學位、爵ヲ記入シ、且將校、同相當官ニ在リテハ現役、豫備役、後備役、退役ノ區別、高等文官ニ在リテハ在職、休職ノ區別ヲ記入ス
- 三 死亡者三位以上ナルトキハ薨去、五位以上ナルトキハ卒去、六位以下ナルトキハ死去ト記載ス

様式人第三號

高等官失官報告

役種 官 氏 名

右何罪ニ依リ懲役何年ニ處セラルヘキ裁判確定シ

何月何日失官トナレリ

年 月 日

注意

一 本報告ハ現役、豫備役、後備役將校同相當官、退役將校同相當官在職、休職高等文官ノ犯罪ニ因リ官ヲ失ヒタル之ノヲ報告スルモノトス

二 將校同相當官ニ在リテハ現役、豫備役、後備役、退役ノ區別、高等文官ニ在リテハ在職、休職ノ區別ヲ記入ス

様式人第四號

現役將校同相當官准士官年齡滿限報告

職(待命、休職、停職)

官 氏 名

年 月 日

右何年何日現役定限年齢ニ達ス

年 月 日

注意

一本報告現役同相當官准士官(特務曹長ヲ除ク)ノ年齢滿限ヲ報告ス

ルモノトス

様式人第五号

在職後備役將校同相當官准士官後備役満期報告

職

官

氏名

生年月日

右何月何日後備役満期ト為ル

年 月 日

法意

- 一 本報告ハ在職將校同相當官准士官ノ後備役満期ヲ報告スルモノトス
- 二 准士官中特務曹長ニ在リテハ本報告ヲ要セス

様式人第六號

將校同相當官待命
(高等文官休職) 満期報告

待命(休職)

官 爵

氏

名

右何月何日休職(休職満期)ト為レリ

年 月 日

注意

一本報告ハ將校同相當官、待命満期及高等文官ノ休職満期ヲ報告スル
モノトス

様式人第七號

將校司相當官轉役報告

待命(休職・停職)官、辭 氏 名

右何月何日豫備役に爲レリ

豫備役(後備役) 官 氏 名

同 官 氏 名

同 官 氏 名

右本年四月一日後備役に返役に爲レリ

年 月 日

注意

一 本報告ハ將校司相當官豫備役に轉入(辭令ヲ受ケタルモノ
ヲ除ク)及後備役に返役に轉入ヲ報告スルモノトス

様式人第九號

將校同相當官學生半途退學(滯學)報告

職

官

氏名

生年月日

右陸軍何學校何學生トシテ修學中ノ處何々ニ由リ何月何日半途退學セリ
(何々ニ由リ滯學ヲ命セラレタリ)

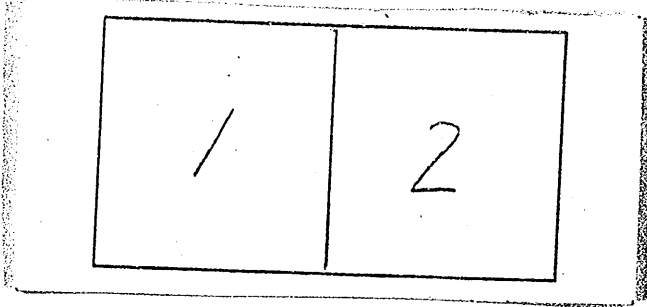

年 月 日

注意

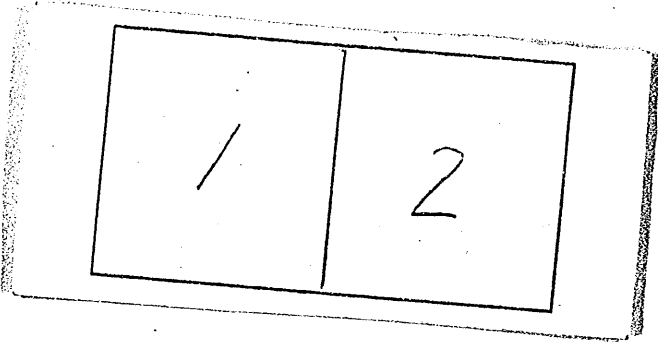

一 本報告ハ將校同相當官ノ學生ニシテ半途退學又ハ滯學ノ事實アリタル都度
提出スルモノトス

ニ學校令(條例)ニ依リ召集セラレタル者及特別ノ規定若ハ令達ニ依リ入校シタル者其
ノ他學生ニ準スヘキ者ニ就テモ同様ニ報告スルモノトス


分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	


分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="454 472 1337 763"><tr><td data-bbox="533 495 775 748">1</td><td data-bbox="775 495 1018 748">2</td><td data-bbox="1018 495 1260 748">3</td></tr></table>	1	2	3
1	2	3		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため			
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>				

何年 第何師管(朝鮮在留) (臺灣在留) 豫備役後備役下士官人員表
 四月一日調 編 東州及濰州 國在留

區別		豫備役		後備役	
		編年(翌年四月一日迄)	編年(翌年四月一日迄)	編年(翌年四月一日迄)	編年(翌年四月一日迄)
憲兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
步兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
車馬兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
騎兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
野砲兵	士官勤務適任證書所持者 高射砲修業者 照定修業者				
山砲兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
重砲兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
砲兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
工兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
鐵道兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
電信兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
飛行兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
騎兵	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
其他	士官勤務適任證書所持者 其、他、者				
計					

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="539 488 1273 645"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>							

注意

一 本報告ハ師團(近衛師團ヲ除ク)司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
 二 朝鮮(間島ヲ含ム)、臺灣、關東州及滿洲國(間島ヲ除ク)在留者ハ第十九、第二十師團、臺灣軍、關東軍ニ於テ調査報告シ在籍師管ノ人員表ニハ之ヲ掲上セス
 近衛師團ニ於テ歸休ヲ命セラレ又ハ現役ヲ終リタル者、第三、第八師管在籍者中第七師團ニ於テ歸休ヲ命セラレ又ハ現役ヲ終リタル者、第二師管在籍者中騎兵第三旅團ニ於テ歸休ヲ命セラレ又ハ現役ヲ終リタル者、第九師管在籍者中騎兵第四旅團ニ於テ歸休ヲ命セラレ又ハ現役ヲ終リタル者、第一師管在籍者中野戰重砲兵第一旅團ニ於テ歸休ヲ命セラレ又ハ現役ヲ終リタル者ノ人員表ハ本様式ニ依リ各別表ニ調製ス

三 歸休兵欄記載ノ徵集年次ハ年次ノ新シキモノヨリ順次ニ記入ス

四 舊野砲兵聯隊、騎砲大隊ニ在隊シタル者ハ騎砲兵ノ部ニ、舊野砲兵聯隊ノ重砲大隊並舊重砲兵乙部隊ニ在隊シタル者ハ野戰重砲兵ノ部ニ、舊航空隊ノ氣球中隊ニ在隊シタル者ハ氣球兵ノ部ニ、輜重兵ニシテ軍用自動車試験班ニ在隊シタル者ハ自動車隊ニ在隊シタル者及自動車學校ニ分遣セラレタル者ノ部ニ合記ス

五 電信兵ニシテ無線中隊ニ在隊シタル者、中舊乙中隊ニ在隊シタル者ハ〇ヲ冠シ又電燈術ヲ修業シタル者及舊電氣中隊ニ在隊シタル者ハ「燈」ノ文字ヲ冠シテ各相當欄ニ別記ス

六 野戰重砲兵中野戰重砲兵第七、第八聯隊ニ在隊シタル者ハ〇ヲ冠シ又工兵中乙及丙部隊ニ在隊シタル者ハ其ノ略符號ヲ、昭和三年十二月以降工兵第五大隊第三中隊若ハ昭和七年十月以降工兵第十一、第十八大隊第三中隊ニ在隊シタル者ハ「丁」ノ文字ヲ、工兵學校電氣中隊ニ分遣セラレタル者ハ〇ヲ冠シテ別記ス

七 師團通信隊無線電信術ヲ修得シタル者ハ「無乙」、各兵無線電信術ヲ修得シタル者ハ「無」ヲ又補備教育ヲ受ケタル者ハ其ノ修得課目ノ略符號ヲ冠シテ各相當欄ニ別記ス

八 自動車運轉術修業者ノ欄ニ大正八年陸達第三九號ニ依リ軍用自動車術ヲ修業シタル者、大正七年陸密第三六七號ニ依リ自動車隊ニ於テ自動車運轉術ヲ速修シタル者、大正十一年陸普第一四二六號ニ依ル自動車運轉手續ヲ交付セラレタル者並各府縣ニ於ケル自動車運轉免許證ヲ有スル者ヲ其ノ略符號ヲ冠シテ別記ス

九 各兵科ノ者ニシテ飛行機操縦士免狀所持者、憲兵上等兵適任證書所持者、軍用鳩調査委員ニ於テ軍用鳩ニ關スル學術ヲ修得シタル者、工兵中電信通信術卒業業者、電信建築術卒業業者ハ其ノ略符號ヲ冠シテ各相當欄ニ別記ス

十 各兵科部ノ者ニシテ醫師免許證、醫術開業免狀ヲ有スル者ハ「醫免」、藥劑師免狀ヲ有スル者ハ「藥免」、獸醫免許證ヲ有スル者ハ「獸免」、文字ヲ冠シ、看護學ヲ修業シ又ハ看護兵勤務ニ服シタル者ハ其ノ略符號ヲ冠シテ各相當欄ニ別記ス

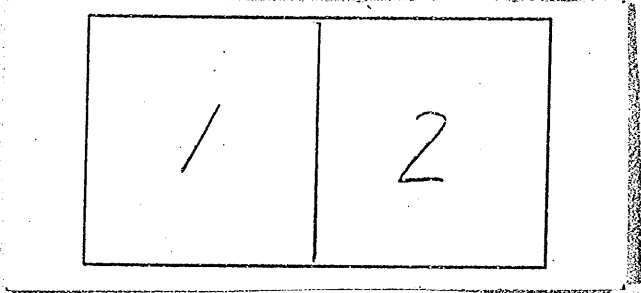

十一 演習召集中ノ者ハ本表ニ合記シ充員召集、臨時召集中ノ者、特別ノ規定ニ依リ平時部隊ニ服務スル者及動員計畫上ノ召集猶豫者ハ之ヲ本表ニ記載セサルモノトス但シ召集猶豫者ノ人員ハ本様式ニ依リ別表ニ調製添付ス

十二 未入營現役者ハ歸休ノ欄ニ朱書別記シ輜重兵特務兵中四月一日在隊者ハ本表ニ記載セス

十三 所在不明者ハ本表ニ記載セス歸休、豫備役、後備役ニ区分シタル總數ヲ備考欄ニ記載ス
 十四 火糝(銃)(鍛)(木)(機)(電)(繩)(靴)工長適任證書所持者ハ其ノ符號ヲ冠シテ相當欄ニ区分記載ス

十五 本表ハ秘密取扱ヲ爲スモノトス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 5年9月17日 主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 	


何年 第何師管(朝鮮在留(臺灣在留) 四月一日調 關東州及滿洲國在留) 第一補充兵人員表

區分	第一次(服役第六年級迄)		第二次(服役第七年級以後)		計
	調査年(翌年四月一日迄)第三次轉入スル者	其、他、者	調査年(翌年四月一日迄)第二次轉入スル者	其、他、者	
歩兵	未既		未既		
戰車兵	未既		未既		
騎兵	未既		未既		
野砲兵	未既		未既		
山砲兵	未既		未既		
野戰重砲兵	未既		未既		
騎砲兵	未既		未既		
重砲兵	未既		未既		
高射砲兵	未既		未既		
工兵	未既		未既		
鐵道兵	未既		未既		
電信兵	未既		未既		
飛行兵	未既		未既		
氣球兵	未既		未既		
輜重兵	未既		未既		
輕重兵	未既		未既		
看護兵	未既		未既		
補助看護兵	未既		未既		
磨工兵	未既		未既		
總計	未既		未既		


注意

一 本報告ハ師團(近衛師團ヲ除ク)司令部臺灣軍司令部關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
 二 朝鮮(間島ヲ含ム)、臺灣、關東州及滿洲國(間島ヲ除ク)在留者ハ第十九、第二十師團、臺灣軍、關東軍ニ於テ調査報告シ在籍師管ノ人員表ニハ之ヲ掲上セス
 近衛師團ノ要員トシテ徵集シタル者、第三、第八師管在籍者中第七師團ノ要員トシテ徵集シタル者、第三師管在籍者中騎兵第四旅團ノ要員トシテ徵集シタル者、第一師管在籍者中野戰重砲兵第一旅團ノ要員トシテ徵集シタル者、人員表ハ本様式ニ依リ各別表ニ調査ス
 三 舊野砲兵聯隊、騎砲大隊ニ召集セラレタル者ハ騎砲兵ノ部ニ、舊野砲兵聯隊ノ重砲大

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="507 495 1378 786"><tr><td data-bbox="587 510 826 763">1</td><td data-bbox="826 510 1066 763">2</td><td data-bbox="1066 510 1315 763">3</td></tr></table>	1	2	3
1	2	3		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため			
<p data-bbox="300 1211 1337 1368">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="400 1525 948 1603">5 年 9 月 17 日</p> <p data-bbox="555 1727 842 1783">主務者又は</p> <p data-bbox="555 1883 1433 1973">撮影立会者 加部東 保夫 </p>				

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="478 481 1300 705"><tr><td data-bbox="518 515 670 672">1</td><td data-bbox="670 515 821 672">2</td><td data-bbox="821 515 973 672">3</td><td data-bbox="973 515 1125 672">4</td><td data-bbox="1125 515 1276 672">5</td></tr></table>	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため					
<p data-bbox="279 1176 1324 1355">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="383 1489 941 1590">5 年 9 月 17 日</p> <p data-bbox="534 1691 837 1769">主務者又は</p> <p data-bbox="534 1848 1428 1960">撮影立会者 加部東 保夫 </p>						

何年 何年在營兵 歸休後得入師管別徵集年別豫定人員數

區別

第一 第二 第三
 第一 第二 第三
 第一 第二 第三

步兵		戰車兵		騎兵		野砲兵		山砲兵		野戰重砲兵	
下士官適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	下士官適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	下士官適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	下士官適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	下士官適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	下士官適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者
計手適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	計手適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	計手適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	計手適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	計手適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者	計手適任證書所持者	砲兵工長適任證書所持者
自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者	自勤車運轉術修業者
其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者	其、他、者
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

1414

兵		砲		野		砲		野		砲		野		砲		野		砲		野	
其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計
下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者		下士官適任證書所持者	
砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者		砲兵工長適任證書所持者	
工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者		工兵工長適任證書所持者	
計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者		計手適任證書所持者	
自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者		自動車運轉修業者	
照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者		照空術修業者	
其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計	其	計

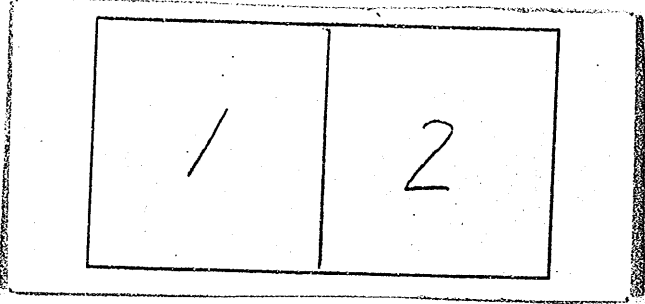

様式動第八號

同 第九號

同 第一〇號

右兵役法ノ改正ト關聯シ目下主務課ニ於テ起案中

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

様式徴第三號

何年現役下士官減員表

考 備	計	輜 重	氣 球	飛 行	電 信	鐵 道	工 兵	高 射 砲	重 砲	野 戰 重 砲	騎 砲	山 砲	野 砲	騎 砲	戰 車	步 兵	兵 種	
																	官任ニ官士准	出轉ニ外管所
																		科 轉
																		入轉ニ使生諸
																		期 滿
																		後備後國民兵役
																		疾 傷 廢 故 障
																		免 役
																		罰 刑
																		官 失
																		外員定亡逃
																		亡 死
																		何
																		計
																		現 在 員
																		調 査 期 末

注意

一本表ハ師團司令部、旅團司令部、要塞司令部、聯隊區司令部、軍司令部、
 守備隊司令部及各隊ノ現役兵科下士官(憲兵下士官及砲工兵工長ヲ除ク)ヲ通
 シ一月ヨリ十二月ニ至ル一年間ノ事實ヲ記載シ規程第二條ノ部隊ヨリ提出ス
 ルモノトス但シ朝鮮軍司令部ニ在リテハ兩師團長直轄部隊ノ者ヲ除キ調
 製ス

二豫備役、後備役、國民兵役編入ニ在リテハ豫後國ノ畧符號ヲ附シ區別
 シテ記載ス

三調査期末現在員ノ欄ニハ諸学校其他ニ分遣中ノ者ヲ合算ス

様式徴第四號

何年定員過剩歸休人員表

考 備	計	部			隊		歸休人員	
		何 兵 第 何 大 隊	何 兵 第 何 聯 隊	何 兵 第 何 聯 隊	歸 休 月 日	歸 休 人 員		

注意

一本報告八師團司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス

様式徴第五號

何年 家事故障現役免除人員表

考 備	計	何	何兵第何大隊	何兵第何聯隊	部 隊	入	入	入	入	入	計
						一月以 内	二月以 内	三月以 内	四月以 内	五月以 後	

注意

- 一 本報告ハ師團司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
- 二 本表ハ前年十二月ヨリ其ノ年十一月迄ノ間ニ於テ兵役法第二十條ニ依リ現役ヲ免セラレタル人員ヲ掲上スルモノトス
- 三 輜重兵特務兵及衛生部兵ハ符號ヲ附シテ之ヲ別記ス

様式第六號

何年徵集前後期現役兵青年訓練程度調査表

兵科部	(甲) 入營		(乙) 青年訓練 又ハ學校 訓練ヲ修 了シタル 者		(丙) 青年訓練又ハ學校訓練ヲ受ケタルモ修了又ハ證明書 ヲ有セサル者		(丁) 青年訓練 又ハ學校 訓練ヲ受 ケサル者		計
	總人員	入營	計	修了	計	未修了	計	未修了	
歩兵									
戰車兵									
騎兵									
砲兵									
工兵									
親衛兵									
輜重兵									
衛生部 (補助看護兵ヲ除ク)									
計									

備考

注意

- 一 本報告ハ師團司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
- 二 本表ノ「青年訓練」ニハ青年訓練所ノ訓練ト同等以上ト認定セラレタル訓練ヲ含ム
- 三 乙欄ノ人員ハ歩兵ニ在リテハ學校訓練及青年訓練修了者檢定規程附録第四様式青年訓練修了者檢定調査表ノ檢定合格者、檢定不合格者及學校教練檢定合格者ヲ合計シタル人員ト致スルモノトス
- 四 學校教練ヲ受ケタルモノヲ修了セザリシ者ヲ丙欄、各欄ニ記載スル區分ノ標準ハ青年訓練所ノ訓練ヲ受ケルコトヲ得ル最高年齢ニ違セスニテ現役將校ヲ配屬シタル尋常小學校卒業ヲ入學資格トスル學校ノ第四學年(高等小學校第二學年修了ヲ入學資格トスル學校)在リテハ第二學年其他之ニ做ラシメテ程度以上ノ成績ヲ修メタルモノヲ(四)欄相當トシ其他之ニ做ヒ當該欄ニ括弧ヲ附シテ別記ス

様式第 〇〇 号 経第一號

何年度委任經理積立金現在高表

部	軍	隊	官	衛	学	校	何	計	計	計	何年度委任經理積立金現在高表	
											何	何
											年度	始
											円	
											十二月一日	
											円	
											年度末見込	
											円	

注意一本表は陸軍經理部及支那駐屯軍司令部に於て編製される

何年度 糧秣購買平均價格表 (精米)

衛戍(駐屯)地名	購買數量	購買金額	平均價格
		円	円
計			
備考			

注意

本表ハ支出官ノ區分ニ從ヒ陸軍經理部、陸軍航空本部、軍馬補充部、陸軍被服本廠、陸軍糧秣本廠及支那駐屯軍司令部ニ於テ調製スルモノニシテ各部隊ニ於テ購買シタルモノ及代金渡(將校同相當官乘馬ニ對スル馬糧ヲ含ム)ニ係ルモノヲ歲出現計書計算ノ基礎ニ依リ合算スルモノトス

ニ本表ハ精米、精麥、大麥、燕麥、豆粕、高粱、干草、牧草、藁、食塩毎ニ別表ニ調製スルモノトス

三衛戍(駐屯)地名ノ欄ニハ現品納付ノ衛戍(駐屯)地ヲ記入ス

四平均價格ハ百進ノ價格ヲ記入ス

五搗精ノ自營及内地部隊補給用高粱、豆粕、燕麥調辨並干草直買ノ場合ハ搗精若ハ精撰シタル仕上數量及其ノ原價ニ搗精若ハ精撰ニ要シタル諸費(需要部隊へ送付ノ運賃ヲ含ム)ヲ合算シタル金額ヲ記入ス

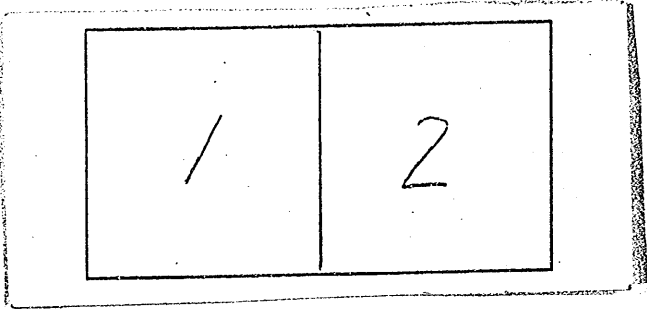

六陸軍糧秣廠ヨリ現品ノ交付ヲ受ケタル場合ハ其ノ數量及受授地ヨリ需要部隊迄ノ運賃其他ノ費用(當該科目ヨリ支拂タルモノニ限ル)ヲ前各號ニ準シ左側ニ朱書ス

七搗精ノ自營及内地部隊補給用高粱、豆粕、燕麥調辨並干草直買ノ爲メ米玄麥若ハ素品繰越等ノ關係ニ依リ墨書及朱書ヲ合算シタル金額、陸軍省所管會計事務規程ニ依リ陸軍省ニ提出スヘキ歲出現計書ト符合セサル場合ニハ其ノ事由及金額等ヲ備考欄ニ詳記ス

八朝鮮、滿洲等ニ於テ購買シタル大豆、豆粕、粟稗等ノ馬糧代用品ハ各其ノ本位ノ品種ニ換算ノ上掲記シ其ノ數量及金額ヲ備考欄ニ記載ス

九陸軍糧秣廠ニ於テ現品交付ヲ爲シタルモノノ受授地迄ノ運賃ハ購買金額ニ合算ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

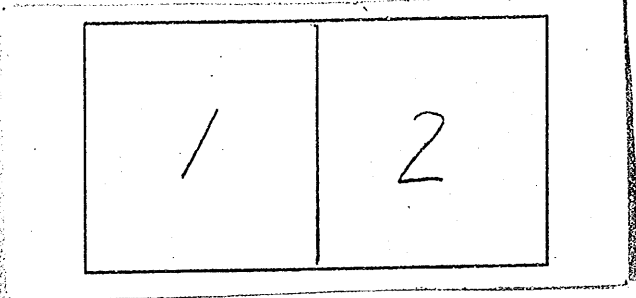

何年 何月分 糧食給與分量表(軍隊)

品目	一人一日給與平均分量		平均單價	一人一日給與平均金額
	斤	匁		
精米				
精麥				
パン				
何々				
生肉				
牛				
豚				
鶏				
罐詰肉				
鶏卵				
生魚				
乾魚				
塩魚				
生野菜				
豆腐				
干菜				
干菜類				
漬物				
味噌				
醬油				
蠶油				
砂糖				
食塩				
茶				
何々				
燃料				
薪				
石炭				
木炭				
給與日金額計				

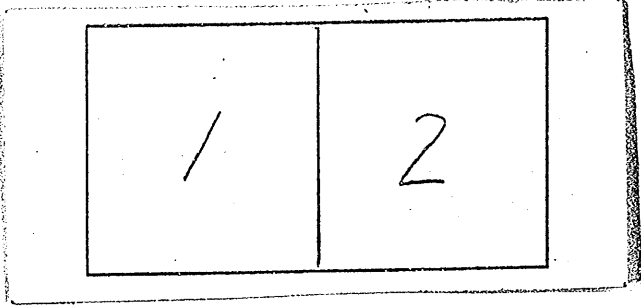

注意

- 一 本表ハ陸軍總司令部及支那駐屯軍司令部ニ於テ軍隊、病院、學校及監獄 毎ニ別表ニ調製スルモノトス
- 二 監獄ハ東京、大阪、小倉衛戍刑務所ニ限ル
- 三 本表ハ毎年四月分及七月分ニ就キ調査スルモノトス
- 四 本表中學校ハ増殖料ヲ加ヘ給セラルル學校ヲ甲トシ、増殖料ノミ給セラルル 學校ヲ乙トシ同欄内ニ行ニ區分記入ス
- 五 一人一日給與平均分量ノ單位ハ醬油ヲ立トスル外總テ瓦トシ平均單價ハ 精米、精麥及石炭ニ在リテハ百匁ニ付、醬油ニ在リテハ百匁ニ付、其ノ他ニ 在リテハ一匁ニ付計上ス
- 六 給與平均分量ノ算出ハ實際消費數量ヲ當該月ノ實給總延日數ニ 除シタルモノトス但シ瓦又ハ瓦以下三位迄計算出記入ス
- 七 平均單價ハ各品種毎ニ其ノ實際消費數量ニ對スル金額(戦用繰下糧 食品ニ在リテハ買入單位ニ換算シタル)ヲ該消費數量ニテ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

何年 三月三十日調 主要職工人夫其他賃金表

考 備	種 別		賃 金	種 別		賃 金
	名 稱	區 分		名 稱	區 分	
	大 工	上		井 戸 職		
	同	並		植 木 職		
	石 工			土 工		
	煉 瓦 工			手 傳 人 夫		
	左 官			女 人 夫		
	鍛 工			馬 車 四 輪 車		
	ペンキ工			手 車		
	木 挽			自 動 貨 車	ニ ハ 此 半 價	

注意

- 一 本報告ハ陸軍經理部支那駐屯軍司令部陸軍造兵廠ニ於テ調製スルモノトス
- ニ 本表ノ單價ハ調製時期ノ價格ヲ示スモノトス
- 三 所管内ニ於テ著シク價格ニ相違アル場合ハ増減率ヲ備考欄ニ記入スルモノトス
- 四 土工及人夫ニ在リテハ内地人及内地人以外ノモノヲ區分シテ併記ス
- 五 種別欄ニ示ササル運搬具ヲ使用シタル場合ハ種別欄ヲ增加シテ之ヲ記載ス

何年 三月三十日調 建造物履歴表

部 隊	國有 財產 符號 名稱		一般 構造		構 造			細 部		積 量 年 齡
	符號	名稱	構造	一般	地形 外周	内周	床	天井 屋根 壁開口		
履歴										
履歴										
履歴										
履歴										

注意

- 一 本報告ハ大正十五年ヨリ爾後滿五年毎ニ陸軍經理部、陸軍造兵廠、干渉製紙所、支那駐屯軍司令部ニ送テ調數スルモノトス
- 二 本表ニハ配置圖及平面圖ヲ毎回添付スルモノトス
- 三 積量及數量ノ記載法ハ國有財産法施行規則ニ準テス
- 四 年齢ハ竣功ノ年ヲ一年トシテ算シ爾後一年未滿ノ端月數ハ二年ニ算入ス
- 五 履歴ノ欄ニハ新築、増築、移築、改築、模様替、管理替及寄附等ノ事實ヲ記載ス

何年十二月調 何隊(學校)(官衛)衛生記事

第一衛成(駐屯)地ニ關スル記事

- 一 位置及沿革略史
- 二 給水
- 三 排水及除穢
- 四 氣象
- 五 其他

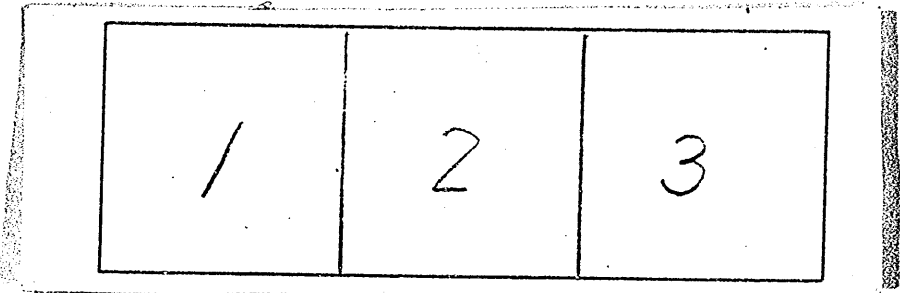

第二部隊ニ關スル記事

- 一 位置
- 二 兵營及兵舎
- 三 氣密及面積
- 四 換氣
- 五 煖室
- 六 照光
- 七 土質
- 八 給水
- 九 排水及除穢
- 十 其他

注意

- 一 本報告ハ各隊(憲兵隊ヲ除ク)學校(陸軍大學校、陸軍砲工學校、陸軍護理學校、陸軍軍醫學校ヲ除ク)病院、工廠及刑務所(拘禁所)ニ於テ調製シ各師團(軍)司令部ニ於テ取纏メ提出スルモノトス
- 二 本表三前年ノ報告ニ異動ヲ生シタル事項ヲ記載ス
- 三 新設及移轉ノ場合ニ在リテハ新設者ハ移轉一年ノ後本様式ニ示セル各事項ニ付報告ヲ調製シテ提出スルモノトス
- 四 同一衛成(駐屯)地ニ三箇以上ノ部隊アルトハ衛成(駐屯)地ニ關スル記事ハ軍醫部長ノ指定スル部隊ニ於テ記載ス又ハ部隊數箇所ニ分也スル場合ニ在リテハ各分屯地毎ニ調製ス
- 五 朝鮮、臺灣、滿洲、支那ニ在リテハ永久兵舎ヲ有セザル部隊ハ本報告ヲ要セズ
- 六 學校、病院、工廠及監獄ニ在リテハ本様式ニ示セル事項ノ外特ニ必要ナル事項ヲ記載ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

様式第九 衛第三號

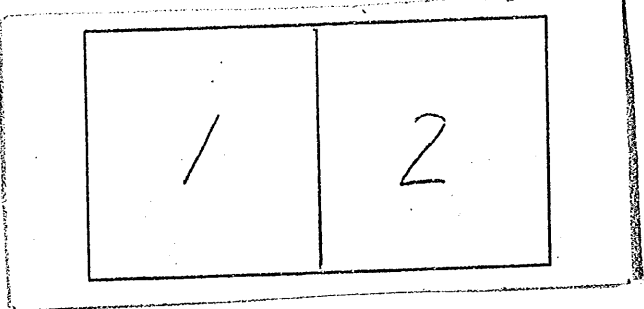

何年 第何師管月別新患死亡及除役表

考 備	總 計	病 類												
		病 名												
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	番 號	
													十一月	十二月
														新患
														死亡
														除役
														計

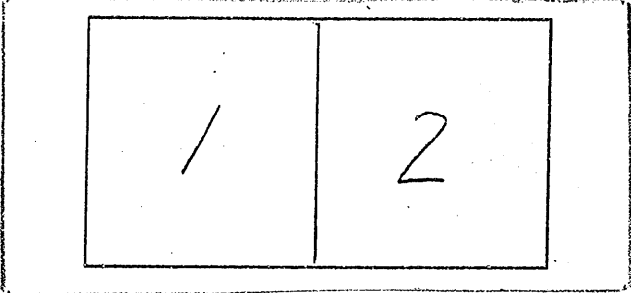

注意

- 一本表八師團(軍)司令部ヨリ提出スルモノトス
- 二本表ノ數ハ患者ノ數ニ對スルモノトス
- 三本表ハ演習日來者ノ數ヲ對シテ記載セラルモノトス


分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="550 548 1284 728"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>							

其、他、腸、胃、腫瘍	五三	喘	息	一	一	動物ニヨル傷害	一八八
其、他、子宮、筋腫	五四	肺	氣	腫	一	一	一
性、子、卵、巢、囊、腫	五五	其、他、慢、性、性、肺、炎	他	一	一	暑、熱、ニ、ヨ、ル、疾、患	一九〇
惡、性、明、子、女、性、殖、器	五六	其、他、牙、及、齒、齦、疾、患	其、他、口、腔、及、其、附、屬、器、疾、患	一	一	雷、ニ、ヨ、ル、傷、害	一九二
其、他、急、性、閉、鎖、レ、ウ、マ、チ、ス	五七	消、化、器、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	一九三	
慢、性、レ、ウ、マ、チ、ス、骨、節、炎	五八	齒、牙、及、齒、齦、疾、患	其、他、口、腔、及、其、附、屬、器、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	一九四
痛、風	五九	肩、肘、腕、炎	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	一九五	
精、尿、病	六〇	咽、頭、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	一九六	
癩、病	六一	食、道、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	一九七	
脚、氣	六二	胃、潰、瘍	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	一九八	
バ、ラ、グ、ラ	六三	胃、炎、及、胃、カ、タ、ル	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	一九九	
佝、僂	六四	其、他、胃、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇〇	
骨、軟、化、症	六五	下、痢、及、腸、炎	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇一	
腦、下、垂、體、疾、患	六六	腸、潰、瘍	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇二	
甲、狀、腺、腫、大、疾、患	六七	腸、管、閉、塞	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇三	
眼、疾、患	六八	肛、門、及、直、腸、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇四	
狀、腺、腫、大、疾、患	六九	其、他、腸、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇五	
副、腎、腺、腫、大、疾、患	七〇	其、他、腸、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇六	
副、腎、腺、腫、大、疾、患	七一	其、他、腸、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇七	
副、腎、腺、腫、大、疾、患	七二	其、他、腸、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇八	
副、腎、腺、腫、大、疾、患	七三	其、他、腸、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二〇九	
副、腎、腺、腫、大、疾、患	七四	其、他、腸、疾、患	一	一	其、他、感、電、ニ、ヨ、ル、傷、害	二一〇	

一 嶺山及採石場ニ於ケル災害
 二 機械ニヨル災害
 三 鐵道及車道
 四 自動車及自動自轉車
 五 其他陸上交通機關
 六 水上交通機關
 七 航空機關

五 休養欄ニハ官設診療所又ハ其他醫師ニ就キ若シテ自宅ニ於テ休養スル患者ヲ入院欄ニハ官設診療所ニ於テ治療セシメタルモノ又其、他、病院ニ入院治療セシモノヲ掲ク

六 公傷酒患者ニ係ル事實ハ「アラビア」數字ニテ別記ス

七 本表ハ男女各別ニ調製シ表名「下ニ男」「上ニ女」ニテ記載ス

八 即死者ハ之ヲ休養欄ニ掲ク

九 計及總計ハ朱書ス

十 平均一日患者數、人員毎千平均(日患者數、事故者中轉症患者數及入院休養患者ニ係ル就業日數)ヲ備考欄ニ記載ス

十一 記入スヘキ患者ナキトキト雖組合員タル雇員以下ノ存スル限リ報告スルモノトス

十二 其、他、事項ニ關シテハ大正十一年陸普第二ニハ此病類別患者數調製要領ニ準據ス

十三 本表ハ概シテ昭和七年十二月内閣訓令第二號死因及疾病分類ニ據ルモノニシテ病名ヲ省略セルモノアリ

様式第六號屬表第一

區 別	平均(舊患)		新患		轉		歸		後 遺	
	日人員	休養入院	休養入院	治癒	死亡	休養入院	休養入院	休養入院	休養入院	日數
雇員、傭人										
工 務 員										
工 務 員										
事 務 員										
鍛 工										
鍛 工										
何										
何										
總 計										

別掲 水上交通機関
 航空機 船 汽船 汽機 汽機

- 五 休養欄ニハ官設診療所又ハ其他ノ醫師ニ就キ治療シ自宅ニ於テ休養スル患者ヲ、入院欄ニハ官設診療所ニ於テ治療シ入院セシメタルモノ又其他ノ病院ニ入院治療セシモノヲ掲ク
- 六 公傷患者ニ係ル事實ハ「アラビア」數字ニテ別記ス
- 七 本表ハ男女各別ニ調製シ表名ノ下ニ「男」「女」ニテ別記ス
- 八 即死者ハ之ヲ休養欄ニ掲ク
- 九 計及總計ハ朱書ス
- 十 平均一日患者數、人員毎千平均一日患者數、事故者中轉院患者數及入院休養患者ニ係ル就業日數ヲ備考欄ニ記載ス
- 十一 記入スヘキ患者ナキトキト雖組合員タル產員以下ノ存スル限リ報告スルモノトス
- 十二 其他ノ事項ニ關シテハ大正十一年陸普第三ニル病類別患者數調製要領ニ準據ス
- 十三 本表ハ概不昭和七年十二月内閣訓令第三號死因及疾病分類ニ據ルモノニシテ病名ヲ省略セルモノアリ

様式衛第六號屬表第一

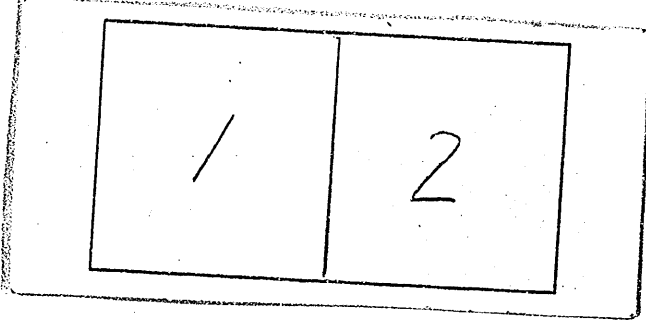

區	別	平均一日人員	舊患		新患		計	轉院				後遺	治療日數	
			入院	入院	入院	入院		入院	入院	入院	入院			入院
總計														
何														
何														
鍛														
鐵														
工務員														
工務員														
工員														
雇員、備人														

様式衛第六號屬表第二

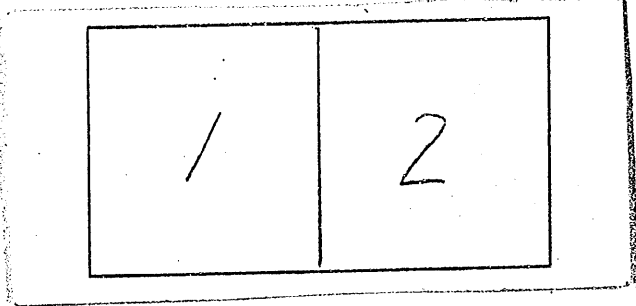

區	別	病類	本年度轉歸ヲ取リタル患者	同上患者ニ係ル初診以來ノ就業治療日數
瘧、其ノ他ノ瘧				
レウマチ性疾患、梅毒、淋病、内分腺、梅毒、其ノ他ノ全身病				
血液及造血臟器ノ疾患				
アルコール中毒及其他慢性中毒				
神經系及感覺器ノ疾患				
血行器ノ疾患				
呼吸器ノ疾患				
消化器ノ疾患				
泌尿生殖器ノ疾患				
妊娠及産ニヨル疾患				
皮膚及皮下結締組織ノ疾患				
骨及運動器ノ疾患				
老衰				
外因死傷				
不明、診跡及不詳ノ原因				

備考

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

何年 士官候補生士官學校豫科生徒幼年學校生徒體格表

備考	幼年學校生徒	士官學校豫科生徒		士官候補生								區別	検査人員	検査期	平均	年齢	身長	體重	胸圍	呼吸擴張差
		幼年學校出身者	幼年學校出身者	幼年學校出身者				幼年學校出身者												
		計	何	計		何		計		何										
				第一期	第二期	第三期	第四期	第一期	第二期	第三期	第四期	第一期	第二期	第三期	第四期					

注意 一本表ハ陸軍士官學校及陸軍幼年學校ニ於テ調製シ師團司令部ヨリ之ヲ提出スルモノトス
 二本表ハ各期ヲ通シテ検査シタルモノニ付調製スルモノトス
 三表名ニ冠スル年次ハ最終検査ノ年トス
 四検査期去ノ如シ

幼年學校生徒	士官學校豫科生徒	士官候補生
第一期 (四月)	第一期 (四月)	第一期 (三月)
第二期 (四月)	第二期 (四月)	第二期 (三月)
第三期 (四月)	第三期 (四月)	第三期 (三月)
第四期 (四月)	第四期 (四月)	第四期 (三月)

此年齢ハ身長、胸圍及呼吸擴張、差ハ概シテ、體重計ハ五。五迄、其ノ平均ハ此以下ニ依テ記載スルモノトス
 六平均カ前期ノ平均ニ比シテ減少ノ記號トシテマヲ冠スルモノトス

何年何月 (何年) 衛戍病院入院患者表

病院別	舊新		計	減員		未救	治癒		私扶登陽	スフチラハ	初	性	胃	炎	氣	肺	胸	脚	名	別	
	患	患		死	除		日	一													以
何衛戍病院																					
何衛分病院																					
計																					

注意

一 本報告ハ一箇月ノ事實(月報)及前年十二月一日ヨリ當年十一月三十日ニ至ル一箇年ノ事實(年報)ヲ取纏メ師團(軍)司令部ヨリ提出スルモノトス

二 轉地療養患者ヲ收容スル衛戍病院分院ハ本表ニ掲ケス其患者ハ患者所屬衛戍病院中ニ包含セシム

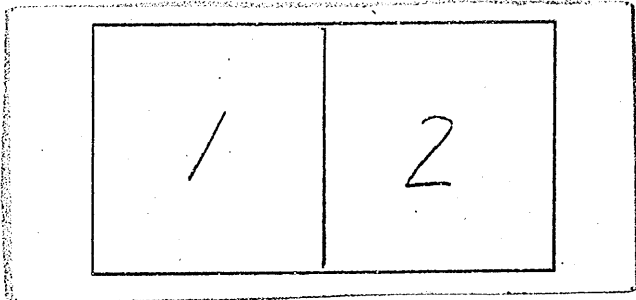

三 主要病名別欄ニハ月報ニ在リテハ當日ノ收容新患者ニ就キ、年報ニ在リテハ前年十二月一日ヨリ當年十一月三十日迄ノ收容新患者ニ就キ各種傳染病流行性感胃、結核、胸膜炎、脚氣其ノ他主要及多發疾病ヲ記載ス但シ病名未定患者ニ係ル事實ハ病名決定ノ月(年)ニ記載ス

四 大正十三年勅令第三百四十三號ニ依リ收容シタル海軍各部ノ患者ハアラビヤ數字未嘗海軍收容部ニ依リシタル陸軍部隊ノ患者ハ同黑書ヲ以テ別記ス

五年報ニ在リテハ「十二月以降新患」ノ欄ノ記載ヲ要セス

六 本表中舊患、新患、減員數及治療日數ノ掲上方ニ關シテハ患者數調製事項ヲ準用ス但シ病名未定ノ患者ニ係ル事實ハ其月(年)ニ掲上シ又新患欄中傳染ハ格孤ヲ附シテ別記ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

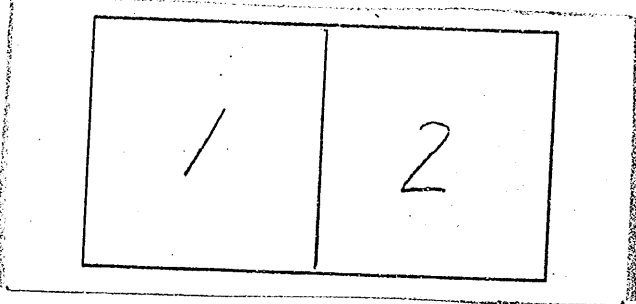

何年度 何地 投薬日数表

患者所属部隊	在		入		計
	將校同相當官 准士官	下士官兵	將校同相當官 准士官	下士官兵	
歩兵					
戦車					
騎兵					
野砲兵					
山砲兵					
野戦重砲兵					
重砲兵					
高射砲兵					
工兵					
鐵道兵					
電信隊					
飛行隊					
氣球隊					
輜重兵					
獨立守備隊					
憲兵					
教化隊					
救療廠					
衛戍病院					
衛戍刑務所(拘禁所)					
學					
兵					
計					
考備					

注意

- 一 本表ハ師管内(朝鮮、在リテハ師團守備管区内)ノ軍隊官衙學校ニ於テ治療シタルモノハ當該師團司令(近衛師團所属部隊ニ於テ治療シタルモノハ近衛師團司令部)臺灣諸部隊ニ於テ治療シタルモノハ臺灣軍司令部、滿洲諸部隊(注別師團ヲ含マズ)ニ於テ治療シタルモノハ關東軍司令部ニ於テ治療シタルモノハ衛戍病院所在地ニ於テ治療シタルモノハ支那駐屯軍司令部ニ於テ治療シタルモノハ支那駐屯軍司令部ニ於テ治療シタルモノトス但シ東京ニ在リテハ東京第(衛戍病院及同病院ヨリ衛生材料ヲ支給スル部隊ニ於テ治療シタルモノト別表ニ調製ス)東京第(衛戍病院及同病院ヨリ衛生材料ヲ支給スル部隊ニ於テ治療シタルモノト別表ニ調製ス)ニ分院及分院所在地ニ在ル部隊ノ投薬日数ハ分院所属衛戍病院所在地ノ表ニ轉地添養所ノハ轉地添養所所属衛戍病院所在地ノ表ニ、衛戍病院若シハ分院所在地外ノ部隊(分遣隊ヲ含ム)ノモノハ衛生材料ノ支給ヲ受ル衛戍病院所在地ノ表ニ計上スルモノトス
- 二 治療部隊所在地以外ニ在ル部隊ノ者ヲ治療シタルトキハ其ノ日数ハ之ヲ治療シタル部隊所在地ノ表ニ記入ス
- 三 本人所属ノ部隊ト同種ノ部隊名欄ニ記ハスルモノトス
- 四 投薬日数ハ一日ニ劑以上ヲ投薬シ或ハ一日一回投薬シタル者ト雖モ之ヲ一日トシテ計上シ又外科的治療者等ニシテ服藥セサル者ニ在リテハ治療日数ヲ記ハスルモノトス
- 五 本表ニ公衆館官給以外ノ者ト雖總テ之ヲ掲クルモノトス
- 六 高等文官ノ將校同相當官准士官ノ欄ニ、諸生徒ハ下士官兵ノ欄ニ合算シ判任文官、准士官、補人等ハ下士官兵ノ欄ニ朱書別記スルモノトス
- 七 依託患者費支辨ニ係ル患者ノ投薬日数ハ本表中ニ合算シ其ノ日数ヲ備考欄ニ記載スルモノトス
- 八 衛戍刑務所(拘禁所)ノ職員ニ係ル投薬日数ハ括弧ヲ附シ在監者ト區分スルモノトス
- 九 新設、移轉、派遣、編制換等ノ為メ人員ニ著キ變動ヲ生シタルトキハ其ノ部隊名、日数變動動前後ニ區分シタル當該部隊ノ投薬日数ヲ備考欄ニ記載スルモノトス
- 十 朝鮮、臺灣、滿洲、支那ノ遠送患者ニ係ル事實ハ本表中ニ計上セズ屬表其一ニ依リ別表ニ調製ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

何年 壯丁トラホーム及花柳病患者表

考備	總計	何隊區				何隊區				聯隊區名		患	者	教				
		計				計				道府縣名	免檢人員							
	計					東京	埼玉					重症	中等	輕症	計	検査	柳	病
	計					入者	入者					計	数	下	症	疾	計	

注意

一本表ハ師團(軍司令部ヨリ提出スルモノトス
 二本表ハ兵役法施行令第七條ニ依ル志願者及陸軍戸山學校軍樂生
 徒志願者ヲ除ク免檢者全員(ハ五五米未滿ノ者ヲ含ム)ニ付調製
 スルモノトス
 三トラホームハ疑似症ハ輕症ノ欄ニ朱書別記シ花柳病ニ種以上罹患シアル
 者ハ其ノ去症ニ依リテ掲上ス
 四朝鮮、臺灣、滿洲及其他ノ外國ニ於テ検査シアル者ニ在リテハ聯隊區、道
 府縣ノ區分ヲ為スヲ要セズ
 五帝國領事館(總領事館ヲ含ム)ニ於テ検査シタル者ノ患者表ハ當該
 検査員ノ屬スル軍(師團)司令部ヨリ提出スルモノトス

様式第廿三 獸第一號

何年 十一月三十一日調 軍馬現數表

部 隊 名	部 隊 保 管 馬		合 計	摘 要
	將 校 乘 馬	隊 (控) 馬		
師團司令部	現在數	定數	現在數	定數
何兵第何旅團司令部	現在數	定數	現在數	定數
何兵第何聯隊	現在數	定數	現在數	定數
何兵第何大隊	現在數	定數	現在數	定數
計	現在數	定數	現在數	定數
考 備				

注意 一本表ハ規程第三條ノ部隊ヨリ提出スルモノトス

ニ皇族附武官ノ馬ハ皇族所屬ノ部隊中ニ合算シ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載ス

三定數ニ對スル過不足ノ事由ハ單簡ニ之ヲ摘要欄ニ記載シ計及合計ニ當リテハ

過不足各別ニ計上ス

四様式第七ノ病馬表注意一ノ獸醫ヲ配屬セサル部隊ノ馬匹ニ在リテハ其總數ヲ備考欄ニ掲フ

五他部隊ニ繋畜スル馬ハ現在數欄内ニ()ヲ附シテ之ヲ別記シ其ノ繋畜部

隊ヲ摘要欄ニ記載ス 但シ計及合計ニ在リテハ()内ノ馬數ヲ合算記

載ス 六總馬數ヲ種類別(和、雜、洋)ニ区分シ計行摘要欄ニ記載ス

様式第九

獸第七號

何年十二月一日
何年十一月三日

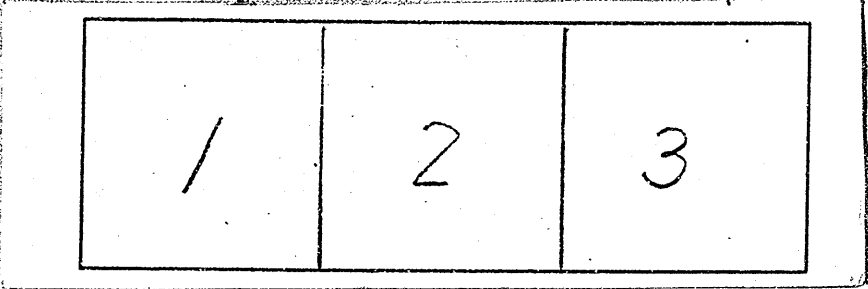

軍馬衛生記事

- 一 所管内ニ於ケル各部隊ノ馬衛生状態及前年トノ成績比較
- 二 馬衛生上新ニ實施シタル事項及其成績
- 三 其ノ他重要ト認メタル事項
- 四 將來ニ關スル意見

注意

- 一 本記事ハ各獸醫部及支那駐屯軍司令部ニ於テ調製スルモノトス
- 二 用紙ハ半紙罪紙トス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

隊別	總計									
	計	野	山	獨	騎	砲	重	輕	其他	計
二年延馬數										
平均月馬數										
平均一日ノ病馬數										
平均一日ノ休業馬數										
馬首醫馬比例										
馬每百休業馬比例										

注意

- 一 本表ハ獸醫ヲ配屬スル部隊及被診部隊(騎鐵工長ヲ配屬スル部隊以下同シ)ニ限リ(其ノ部隊緊要ナル他部隊ノ軍馬ヲ含ム)ニ就キ前年十月ヨリ一年間ノ事實ヲ記載スルモノトス
- 二 部隊名中其他ニ隊別外其他ニ隊別ヲ註記シテ附屬司令部ニ屬スル部隊(獨逸部隊ヲ除ク)及其他被診部隊ヲ括シテ記スルモノトス
- 三 官稱、學級ニ在リテハ姓名ヲ附記シテ各部隊毎ニ調數ノ所在地所管師團司令部ヨリ提出シテ附録又ハ附録ニ在ル部隊ニ在リテハ師團ヲ除ク外別部ニ在リテハ關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
- 四 病類及病名ニ違ハズ如シ

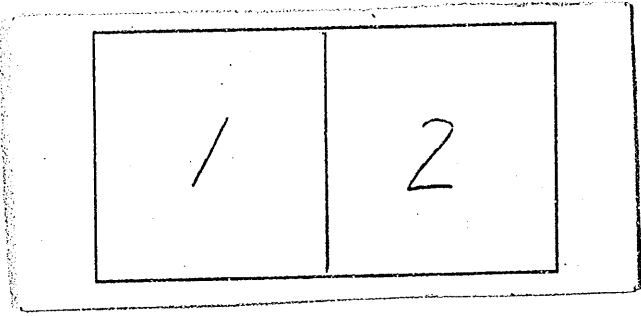

- (一)傳染病
- 方性肺炎 二〇其ノ他 五九 球節軟腫 八八 腫 傷 一〇九
 - 炭疽 一 肺 九〇 肺炎 二一 加眼 病 飛節軟腫 八九 冠 膝 一〇
 - 鼻疽 二 六ノ他 二二 結核 炎 六六 結核囊炎 九〇 炎 傷 一〇一
 - 物疫 三 息 癆 三三 角膜炎 六一 初囊炎 九一 追突 傷 一〇二
 - 疥癬 四 疥癬 炎 三三 虹彩 炎 六二 脫臼 九二 網膜 傷 一〇三
 - 眼疾 五 其ノ他 三三 全眼球炎 三三 癩 傷 一〇四
 - 流行性感冒 六 三 消化器病 間歇性眼炎 六四 看眼行 六五 馬帶 傷 一〇五
 - 赤痢 七 口炎 七五 其ノ他 六五 腕政行 六五 頸革傷 一〇六
 - 加奈花馬痘 八 齒 齒 七五 耳病 病 其ノ他 六五 胸革傷 一〇七
 - 傳染性貧血 九 耳下腺炎 八六 外聽道炎 六六 趾蹄 病 傷 一〇八
 - 血斑病 一〇 咽喉炎 九七 其ノ他 六七 蹄葉炎 九七 其ノ他 一〇九
 - 強直病 一一 胃腸カタル 一〇 皮膚病 蹄海蹄傷 九八 鬚甲 腫 一〇
 - 傳染性膿疱炎 一二 胃腸炎 一一 濕疹 六六 蹄筋炎 九八 鬚甲 腫 一〇
 - 其ノ他 一三 癩癬 一二 夏 六六 蹄筋炎 九八 鬚甲 腫 一〇
 - (二)全身病 一四 過食症 一三 癩癬 六六 蹄筋炎 九八 鬚甲 腫 一〇
 - 中 毒 一五 風氣症 一四 癩癬 六六 蹄筋炎 九八 鬚甲 腫 一〇
 - 熱射病 一六 便秘症 一五 癩癬 六六 蹄筋炎 九八 鬚甲 腫 一〇

病類及病名通本表、如シ

一	傳染病	二	流行性感冒	三	傷寒	四	霍亂	五	痢疾	六	傷寒	七	傷寒	八	傷寒	九	傷寒	一〇	傷寒	一一	傷寒	一二	傷寒	一三	傷寒	一四	傷寒	一五	傷寒	一六	傷寒	一七	傷寒	一八	傷寒	一九	傷寒	二〇	傷寒	二一	傷寒	二二	傷寒	二三	傷寒	二四	傷寒	二五	傷寒	二六	傷寒	二七	傷寒	二八	傷寒	二九	傷寒	三〇	傷寒	三一	傷寒	三二	傷寒	三三	傷寒	三四	傷寒	三五	傷寒	三六	傷寒	三七	傷寒	三八	傷寒	三九	傷寒	四〇	傷寒	四一	傷寒	四二	傷寒	四三	傷寒	四四	傷寒	四五	傷寒	四六	傷寒	四七	傷寒	四八	傷寒	四九	傷寒	五〇	傷寒	五一	傷寒	五二	傷寒	五三	傷寒	五四	傷寒	五五	傷寒	五六	傷寒	五七	傷寒	五八	傷寒	五九	傷寒	六〇	傷寒	六一	傷寒	六二	傷寒	六三	傷寒	六四	傷寒	六五	傷寒	六六	傷寒	六七	傷寒	六八	傷寒	六九	傷寒	七〇	傷寒	七一	傷寒	七二	傷寒	七三	傷寒	七四	傷寒	七五	傷寒	七六	傷寒	七七	傷寒	七八	傷寒	七九	傷寒	八〇	傷寒	八一	傷寒	八二	傷寒	八三	傷寒	八四	傷寒	八五	傷寒	八六	傷寒	八七	傷寒	八八	傷寒	八九	傷寒	九〇	傷寒	九一	傷寒	九二	傷寒	九三	傷寒	九四	傷寒	九五	傷寒	九六	傷寒	九七	傷寒	九八	傷寒	九九	傷寒	一〇〇	傷寒
---	-----	---	-------	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----

五 鼻道等病名各欄及全身病以下計各欄ハ表租ノ欄ニ準シ部隊名ヲ附シテ記スルモノトス
 六 傷馬ハ休養一日及就業四日以上ノモノヲ記シ又舊患ノ致シテ前年ノ後遺ニ符合スヘキモノトス
 七 病名ハ本表ニ示セルモノイテ詳細レ細目ニ掲ケス本表外ノ病名ハ該病名ヲ掲ケス其ノ他ノ欄ニ格シテ記入スルモノトス例ハ
 急性及慢性ノカタルヲ鼻カタルニ球筋及後部筋ヲ特檢ニ敗血症及狂犬病ヲ傳染病其他ノ欄ニ記入スルカ如シ
 八 却隊名及隊別ハ記シテ例ヲ示スルモノトス
 九 療後トハ傷病等ノ為ニ時除後分ヲ示スルモノトス
 十 甲病ヨリ乙病ニシタルトキ甲病ノ轉症トシ乙病ヲ新患トシテ取扱フモノトス
 十一 馬ニシテ二種以上ノ疾病アルモノハ其ノ病名後ニ各別ニ記載スルモノトス
 十二 治療日數ハ診療初日ヨリ轉症ノ前日ヨリ計算スルモノトス但シ診療初日ニ轉症セルモノハ治療日數及休養日數ヲ一日ト計算スルモノトス
 十三 平均一日ノ馬數ハ保管馬一年ノ馬數ヲ其ノ年ノ日數ニテ除シテ示スルモノトス但シ轉症入馬アルトキハ轉出馬在リテハ轉出ノ前日迄ヲ轉入馬ニ在リテハ轉入ノ當日ヲ算入スルモノトス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

何年貸付豫備馬並廢斃馬使用年別表

使用年	部隊名	定期除役 (貸付豫備馬ヲ含テ)						廢斃		計
		貸付	體格不良	老齡	虛弱	癆	損傷	痲疾	其他	
一年未滿	計									
一年以上	計									
二年未滿	計									
二年以上	計									
三年未滿	計									
三年以上	計									
四年未滿	計									
四年以上	計									
五年未滿	計									
五年以上	計									
六年未滿	計									
六年以上	計									
七年未滿	計									
七年以上	計									
八年未滿	計									
八年以上	計									
九年未滿	計									
九年以上	計									
十年未滿	計									
十年以上	計									
十一年未滿	計									
十一年以上	計									
十二年未滿	計									
十二年以上	計									
十三年未滿	計									
十三年以上	計									
十四年未滿	計									
十四年以上	計									
十五年未滿	計									
十五年以上	計									
總計	計									

注意

一 本報告ハ保管馬(其ノ部隊ニ繋蓄スル他部隊ノ馬ヲ含テ)ニ就キ前年十二月一日ヨリ當年十一月三十日ニ至ル間ノ事實ヲ記載シ各師團(軍)司令部、憲兵司令部、軍馬補充部、參謀本部、教育總監部ヨリ提出スルモノトス

二 保管轉換ヲ受ケタル馬ニ在リテハ前保管部隊ニ於ケル使用年、軍馬管理規則第五十七條

考 備	總 計	十五年以上	十四年以上	十三年以上	十二年以上	十一年以上	十年以上	九年以上	八年以上	七年以上	六年以上	五年以上	四年以上	四年未満
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
	何兵部何大隊													
	計													

注意

一 本報告ハ保管馬(其ノ部隊ニ繋畜スル他部隊ノ馬ヲ含ム)ニ就キ前年十二月一日ヨリ當年十一月三十日ニ至ル間ノ事實ヲ記載シ各師團(軍)司令部、憲兵司令部、軍馬補充部、參謀本部、教育總監部ヨリ提出スルモノトス

二 保管轉換ヲ受ケタル馬ニ在リテハ前保管部隊ニ於ケル使用年、軍馬管理規則第五十七條ニ依リ返還セラレタル貸付馬ヲ部隊保管馬ニ繰入レタル馬ニ在リテハ貸付前及貸付間ノ使用年ヲモ通算ス

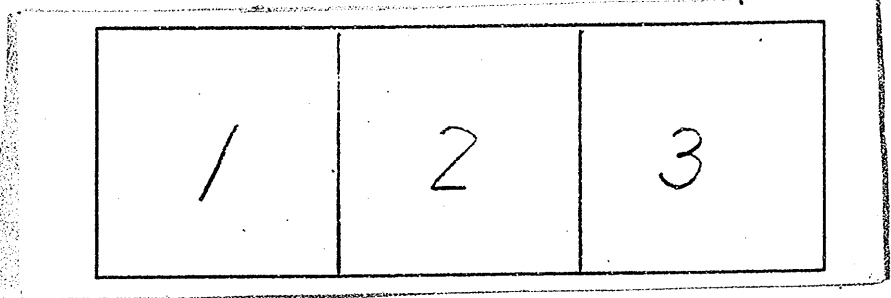

三 定期除役ノ事由ニ以上ニ互ルモノハ其ノ主ナルモノニ算入ス

四 損傷トハ飛節内腫突球、如キモノ、痲疾トハ息癆白内障、如キモノ、疾痲トハ除役當時病馬トシテ取扱中ノモノヲ謂フ又其ノ他ニ算入シタルモノニ在リテハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載ス

五 廢棄殺馬中ノ廢馬ハ軍馬管理規則第四十九條ニ依リ臨時除役處分ヲ爲シタルモノヲ謂フ

六 貸付豫備馬ハ會計者成馬、壯馬、欄ニ括號ヲ以テ其ノ内詳ヲ示スモノトス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5年9月17日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

ヲ取獲ノ師團司令部、朝鮮軍司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
 年末ニ於ケル未決ノ被告ニ在リテハ年末迄ニ知レル事項ヲ記入シ十二月分ト共ニ提出シ爾後
 該事件既決ト爲リタルトキ前項ニ依リ報告スルモノトス又年末ニ於ケル未決ノ被告中前年
 末ニ於テ既ニ未決ノ分トシテ報告シタル者ニ在リテハ其ノ年ニ於ケル豫審請求、公訴提起等
 ノ異動事項ヲ記入シタル名票ヲ年末ニ於ケル未決ノ分ニ加ヘ提出スルモノトス此ノ場合ニ在リ
 テハ前ニ提出シタル名票ノ番號ヲ備考欄ニ記載スルモノトス

ニ 審判ノ欄 毎年被告事件ノ既決ト爲リタル順序ニ依リ一連番號ヲ記入スルモノトス但シ
 未決ノ被告人名票ニハ「未」文字ヲ冠シ別ニ一連番號ヲ附スルモノトス

三 身分ノ欄 處分時ニ於ケル官等級、在職ノ職工、常人等ノ別ヲ記入スルモノトス
 士官候補生、幹部候補生等ニ在リテハ括弧ヲ附シテ相當階級ヲ表示シ在職ノ職工等ニ
 シテ軍爲ナルトキハ括弧ヲ附シ其ノ台表示スルモノトス

犯罪時軍人軍属ニシテ處分時其ノ身分ナキ者若ハ處分ノ結果共官降等トナリタル
 者ニ付テハ犯罪時ノ身分ヲ記入スルモノトス但シ數罪ヲ犯シタル者ナルトキハ其ノ
 最モ重キ罪ヲ犯シタル時ノ身分ヲ記入シ軍法會議法第三百十條告知、不起訴、無罪免訴、
 管轄違ノトキ又ハ豫審ヲ經タル共犯常人ヲ檢事ニ送致シタルトキハ犯罪ノ嫌疑ヲ蒙リ
 タル事實(事實數個)アリタルトキハ其ノ最モ重キ事實ノ發生シタル時ノ身分ヲ記入スルモノトス

四 年齢ノ欄 當何年何月ト記入スルモノトス

五 教育ノ欄 高等學校若ハ之ト同等以上ノ學業ヲ卒ヘタル者ヲ甲トシ中學校若ハ之ト同等ノ
 學業ヲ卒ヘタル者ヲ乙トシ尋常小學校ヲ卒ヘタル者ヲ丙トシ尋常小學校ヲ卒ヘサル者ヲ丁トシテ
 記入スルモノトス

六 年齢及教育ハ處刑判決確定シタルモノニ付犯罪時ニ於ケルモノヲ記入シ數罪ヲ犯シタル者
 ナルトキハ其ノ最モ重キ罪ヲ犯シタル時ニ於ケルモノヲ記入スルモノトス

七 日數ノ欄 「自捜査着手日數」トアルハ陸軍捜査官ニ於テ捜査ニ着手シタル日ヨリ捜査報告ノ
 日附ノ日迄ヲ自捜査報告日數トアルハ捜査報告書日附ノ翌日ヨリ起算シ豫審請求日迄又其ノ
 他ニ在リテハ之ニ準シテ計上スルモノトス但シ不起訴スル事件送致ノ場合ニ在リテハ其ノ命令ノ日
 迄ヲ豫審ヲ終タル共犯常人ヲ檢事ニ送致シタル場合ニ在リテハ送致ノ日迄又死亡ノ場合ニ
 在リテハ死亡ニ依リ事件終結ノ日迄ヲ計上シ「自捜査報告日數」欄ニ豫審ヲ終スシテ公訴提起
 アリタル事件ノ日數ヲ計上スルモノトス

八 嫌疑罪名欄 檢察官ノ處分結了時ニ於ケル罪名ヲ記入スルモノトス

九 重キ罪名ノ欄及輕キ罪名ノ欄 罪名ハ法令ノ條項ニ依リ且ツ其ノ未遂、教唆、從犯等ヲ區別シ
 詳細ニ記入スルモノトス若シ一罪ナルトキハ其ノ罪名ヲ重キ罪名ノ欄ニ數罪ナルトキハ其ノ最モ
 重キ罪名ヲ重キ罪名ノ欄ニ其ノ他ノ罪名ヲ輕キ罪名ノ欄ニ記入スルモノトス但シ輕キ罪名中同
 一名ノ罪數個アルトキハ罪名ヲ掲ケ其ノ下ニ罪數ヲ記入スルモノトス

十 主刑ノ欄及附加刑ノ欄 主刑ハ執行スヘキ刑名刑期又ハ金額ヲ記入シ附加刑ハ刑名ノミヲ記入ス
 ルモノトス

刑法第五十二條及第五十八條ニ依リ前裁判ノ刑期ヲ加重變更シタルトキハ刑名及其ノ加重變更
 シタル刑期ヲ主刑ノ欄ニ記入スルモノトス名票發送後刑ノ加重又ハ變更アリタルトキハ更ニ名票ヲ
 作リ前ニ提出シタルモノトシ加重又ハ變更アリタル刑名刑期ヲ記入シ其ノ自分ヲ加ヘテ提出スルモノトス

十一 初犯果犯罪ノ欄 數回處刑セラレタル者ト雖果犯ト爲ラサルトキハ初犯トシ果犯者ニ付テハ再犯、三
 犯、四犯等ノ別ヲ記入スルモノトス

十二 損害回復ノ欄 損害回復ノ請求ニ付言渡アリタル金額又
 ハ品目ヲ記入スルモノトス

十三 無罪免訴、公訴棄却、管轄違ノ欄 無罪ノ時ハ「無罪」ヲ存シ他
 ヲ抹消スルモノトス

十四 勞役場留置ノ欄 執行ノ指揮アリタル後罰金料料ノ全部
 若ハ一部ヲ納メタル爲留置期間ニ變更アリタルトキハ現
 ニ留置スベキ期間ヲ記入スルモノトス

名票發送後留置執行ノ指揮アリタルトキハ更ニ名票ヲ作
 前ニ提出スルモノトス

刑法第五十四條、適用ニ依リ重キ罪トナラザル罪名ハ處断罪名ノ下ニ括弧ヲ附シテ記載スルモノトス

十 主刑、欄及附加刑、欄 主刑ハ執行スヘキ刑名刑期又ハ金額ヲ記入シ附加刑ハ刑名ノミヲ記入スルモノトス

刑法第五十二條及第五十八條ニ依リ前裁判ノ刑期ヲ加重變更シタルトキハ刑名及其ノ加重變更シタル刑期ヲ主刑ノ欄ニ記入スルモノトス名票發送後刑ノ加重又ハ變更アリタルトキハ更ニ名票ヲ作り前ニ提出シタルモノトス 加重又ハ變更アリタル刑名刑期ヲ記入シ其ノ月分ヲ加ヘテ提出スルモノトス

十一 初犯累犯別、欄 數回處刑セラレタル者ト雖累犯ト爲ラザルトキハ初犯トシ累犯者ニ付テハ再犯、三犯、四犯等ノ別ヲ記入スルモノトス

十二 損害回復、欄 損害回復、請求ニ付言渡アリタル金額又ハ品目ヲ記入スルモノトス

十三 無罪、免訴、公訴棄却、管轄違、欄 無罪、時ハ「無罪」ヲ存シ他ヲ抹消スルモノトス

十四 無罪又ハ免訴ハ事件ノ全部ニ付裁判言渡アリタルトキニ限り記入スルモノトス 等役場留置、欄 執行、指揮アリタル後罰金料料ノ全部若ハ一部ヲ納メタル爲留置期間ニ變更アリタルトキハ現ニ留置スルベキ期間ヲ記入スルモノトス

名票發送後留置執行ノ指揮アリタルトキハ更ニ名票ヲ作リ前ニ提出シタルモノトス留置期間及執行指揮ノ日ヲ記入シ其ノ月ノ分ニ加ヘテ提出スルモノトス

十五 共同被告人名票番號、欄 同一事件ニ付共同被告人アリタルトキハ其ノ共同被告人名票ノ番號ヲ記入スルモノトス

十六 公訴提起ヨリ裁判ニ至ル間ニ被告人死亡シタルトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載スルモノトス

十七 事件ノ全部又ハ一部ニ付無罪、免訴、公訴棄却ノ言渡アリタルトキハ公訴罪名ヲ備考欄ニ記入スルモノトス

十八 無罪、免訴、公訴棄却ノ言渡及軍法會議法第三百十條告知、不起訴處分アリタルトキハ其ノ理由ノ要旨ヲ備考欄ニ記載スルモノトス

十九 豫審中又ハ公判中他ノ罪ニ付更ニ豫審ノ請求又ハ公訴ノ提起アリタル場合ト雖最初ニ豫審請求又ハ公訴ノ提起アリタル年月日ノミヲ記載スルモノトス

二十 陸軍軍法會議相互間ノ送致又ハ移送事件ノ名票ハ送致又ハ移送ヲ受ケタル軍法會議ヨリ提出スルモノトス

二十一 上告ニ係ル刑事被告人名票ハ破毀移送ノ場合ニ在リテハ移送ヲ受ケタル軍法會議ヨリ其ノ他ノ場合ニ在リテハ軍法會議ヨリ判決確定ノ上提出スルモノトス

原判決破毀自判ノ場合ニ在リテモ原軍法會議ヨリ提出スルモノトス

二十二 破毀移送又ハ再審ノ請求ニ依リ審判ニ著手シタル事件ニ付テハ公判ノ欄中、公訴提起トアルヲ事件移送又ハ再審請求ト改メ所要ノ記入ヲ爲スモノトス

二十三 送致又ハ移送ノ事件ニシテ未決ノ被告人名票ノ作成シアルモノハ送致又ハ移送先軍法會議ニ送付スルモノトス

二十四 本票ハ堅緻ノ西洋紙ヲ用ニ藍色ニテ様式ノ通印刷シ事項ヲ記入ニハ黒インキヲ用ウルモノトス

何年 何衛隊刑務所(拘禁所)平均一日既決在監人員入監度數別表

考 備	計	區 別 延 入 員						
		初 次	二 次	三 次	四 次	五 次	六 次	七 次 以 上
死 刑								
無 期 懲 役								
無 期 禁 錮								
六 年 以 上 懲 役								
六 年 以 上 禁 錮								
六 年 未 滿 懲 役								
六 年 未 滿 禁 錮								
拘 留								
勞 務 場 留 置								
計								

注 意

- 一 本報告ハ師團(近衛、第十九、第二十師團)除之司令部、朝鮮軍司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
- 二 延人員ハ一年間ノ總延人員ヲ記入ス
- 三 平均(日既決在監人員ハ一年間ノ延人員ヲ一年間ノ日數ニテ除シタル數ヲ揚ク但シ四捨五入ニ依リ單位以下ニ位迄記入ス
- 四 陸軍監獄ト地方監獄トヲ問ハス刑ノ執行スル勞務場留置ノ為初ニ入監シタルモノヲ初次トシ再々入監シタルモノヲ二次トス三次以下之ニ依リ但シ刑期中逃走シテ補ニ就キ再々入監シタルモノ再犯ノ罪ナキトキハ二次ト爲サス
- 五 餘罪發覺ノ刑ニ依リ入監ハ前發ノ刑ト違シ一次トシテ算ス
- 六 在監者逃走シタルトキハ其ノ罪ヨリ之ヲ除算シ入院シタルトキハ之ヲ除算セズ

何年 何衛戍刑務所(拘禁所)在監者傷病表

考 滿	計			其ノ他			外 傷			區 別
	合 計	入 院	休 業	入 院	休 業	就 業	入 院	休 業	就 業	
										未 決
										既 決
										計
										在監者每 百 比 例

注意

一 本報告ハ師團(近衛、第十九、第二十師團ヲ除ク)司令部、朝鮮軍司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス

二 就業ヨリ休業ニ、休業ヨリ入院ニ移ル等種別ニ變更アリタルトキ其當日ハ之ヲ新種別ノ欄ニ管入ス

三 一日平均及在監者每百比例ハ四捨五入ニ依リ單位以下二位迄記入ス

何年 何衛戍刑務所(拘禁所)在監者賞罰表

考 備	罰						賞		區 別	
	計	叱 責	賞 過 / 停 止	賞 過 / 廢 止	減 食	輕 屏 禁	重 屏 禁	計		賞 金
										未 決
										既 決
										計

注意

一本報告八師團、近衛第十九、第二師團ヲ除ク司令部、朝鮮軍司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
 二本表二年間ノ賞罰度数ヲ記入ス

刑事補償事件報告

請求受理年月日		年 月 日	補償決定年月日		年 月 日
補償裁判、要旨					
無罪					
事件名					
言渡軍法會議					
言渡年月日		年 月 日	言渡年月日		年 月 日
確定年月日		年 月 日	確定年月日		年 月 日
請求人氏名					
住所					
身分					
職業					
備考	補償金額	請求事由	請求人氏名	住所	職業

注意

- 一 本表ハ師團(第十九第三師團)除之司令部、朝鮮軍司令部、臺灣軍司令部、關東軍司令部ヨリ提出スルモノトス
- 二 本報告ハ補償請求事件ニ付一事件一人毎ニ調製スルモノトス
- 三 代理人ニ依ル請求ノ場合ハ代理人ノ氏名住居ヲモ請求人氏名欄ニ記入スルモノトス
- 四 刑事補償法取扱規程第二條ノ場合ハ次項任者ヲ併記スルモノトス
- 五 補償裁判ノ要旨ハ何處、拘置又ハ刑ノ執行ニ因ル補償金額ヲ分別シテ表示スルモノトス
- 六 補償金額ノ標準ハ何處、拘置又ハ刑ノ執行ニ因ル補償等ニ付百何円ノ割合ニ表示スルモノトス
- 七 刑事補償法取扱規程第二條ノ場合ニ於テハ其旨ヲ記入スルモノトス
- 八 請求ノ拋棄又ハ取消アリタルトキハ其旨ヲ記入スルモノトス

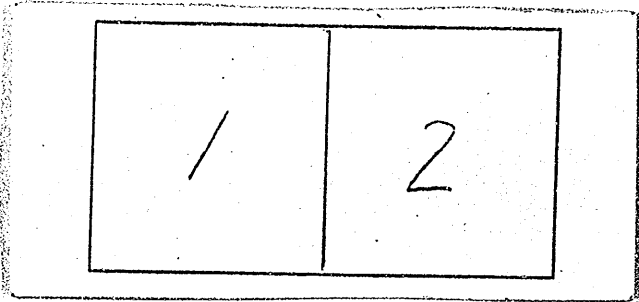

何年 十月一日調年 工場法適用工場職工表

考 備	合 計			工 場			別 数			
	計	女	男	計	女	男	内			
							十四歳未満	十四歳以上 十五歳未満	十五歳以上 十六歳未満	十六歳以上

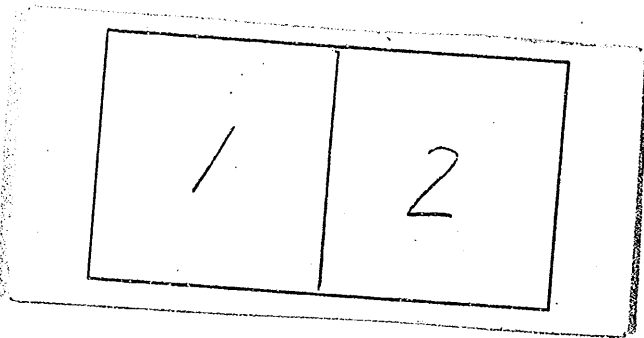

注意

- 一 本報告ハ内務省ニ提出スヘキ工場監督状況通報ノ資料トス規程第三條ノ部隊ニ於テ一表ニ調數シテ提出スルモノトス
- 二 工場ハ所在地ヲ異ニスルモノ毎ニ(同一構内ニ在ラサルモノ毎ニ)一工場トシテ記載ス例ハ東京工廠ハ其ノ各製造所ヲ一括シラ一工場トシテ火工廠ハ之ヲ王子、板橋、目黒等ノ數工場トナスカ如シ但シ十條兵器製造所ニ在リテハ器具製造及發火物製造ノ二工場ニ區分シテ記載ス
- 三 生産工場ニ非サルモ倉庫其ノ他建築物ニ於テ常時手入等ヲ爲ス場所ハ之ヲ一工場ト見做ス
- 三 寄宿舍ノ設アル工場ニ在リテハ寄宿職工數ヲ男女別トシ工場名ト共ニ備考ニ記載ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

何年 工場法適用工場職工扶助金額及休業扶助料支給延日数表

考 備	扶 助 金 額														区 別		
	休業扶助料支給延日数						疾病				傷				何工廠	何製造所	
	疾 病	負 傷		計	療 養 費	休業扶助料	計	療 養 費	休業扶助料	計	療 養 費	休業扶助料	計	療 養 費			休業扶助料
		男	女												男	女	

注意

- 一 本報告ハ内務省ニ提出スヘキ工場職工扶助延日数報告ノ資料トシテ規程第三條ノ部際ニ於テ一表ニ調製シテ提出スルモノトス
- 二 工場ノ区分ハ様式第二七法意ニ據ル
- 三 本表ニ様式第二九職工扶助件数表ニ記載シタル者ニ對スル其年中ニ於ケル扶助金額及之等ノ者ニ未済ノ為翌年ニ繰越ス者ヲ含メニ對スル休業扶助料支給延日数ヲ記載ス
- 四 様式第二九職工扶助件数表法意三及六ハ之ヲ本表ニ適用ス
- 五 業務上ノ負傷ノ疾病及死亡者ニ對スル官費治療又ハ共済組合ヨリ治療ハ之ニ要シタル費用(精確ニ計算シ得サルトモハ其概算額)ヲ療養費中ニ算入ス
- 六 療養費及休業扶助料ノ二欄ニ於テ健康保險法ノ保險給付期間ヲ超エテ支給シタルモノニ在リテ之ヲ未済ニ被保險者ニ非サルモノニ在リテハ之ヲ黑書ニテ兩者ヲ区分ス又障害扶助料、遺族扶助料、葬料及打切扶助料ノ各欄ニ於テハ、被保險者ノ...

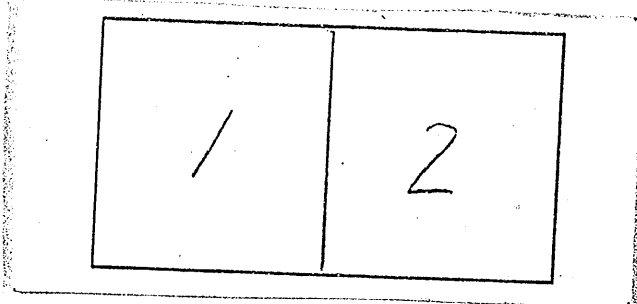

何年 工場法適用工場災害表

區別	何		工		廠		何		製		造		所		何	
	死	七	重	傷	輕	傷	死	七	重	傷	輕	傷	死	七	重	傷
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
運																
中																
機																
及																
力																
傳																
導																
學																
教																
二																
四																
因																
二																
五																
研																
磨																
二																
四																
因																
二																
五																
六																
七																
八																
九																
十																
計																

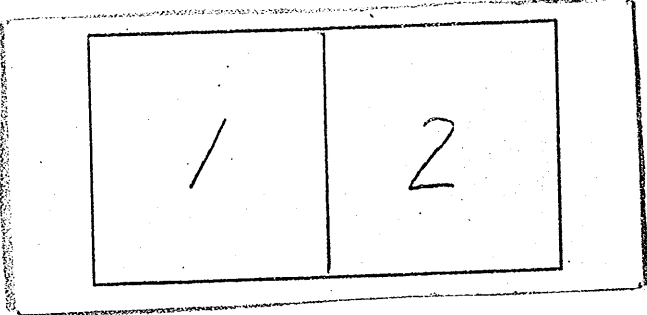

注意

- 一 本報告ハ内務省ニ提出スヘキ工場監督状況通報ノ資料トス規程第三條ノ部隊ニ於テ一表ニ調製シテ提出スルモノトス
- 二 工場ニ區分ハ様式第二七注意ニニ據ル
- 三 本表ニハ其ノ年ノ一月ヨリ十二月ニ至ル一年間ノ事實ヲ記載ス
- 四 重傷欄ニハ負傷ニ依リ療養ノ為休業三週日以上ト要スルモノ又ハ其ノ見込ノモノヲ記入ス
- 五 輕傷欄ニハ療養ノ為休業三日以上ニ週日未滿ノモノ又ハ其ノ見込ノモノヲ記入ス
- 六 二箇以上ノ事由競合スルトキハ其ノ主ナル部ニ記入ス
- 七 事實ナクシテ不用ノ欄ハ省略スルコトヲ得

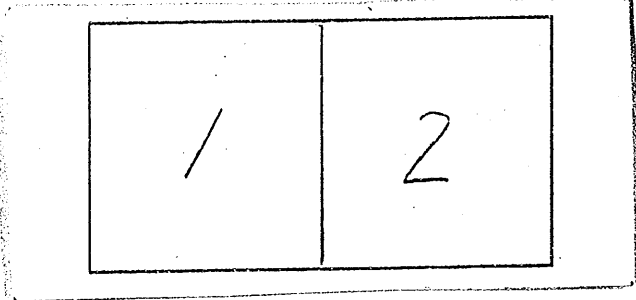

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 5年9月17日 主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

スルコトヲ得

三本記例、各欄、間隔ハ之ヲ伸縮シ各欄内ニ別ニ欄ヲ設ケ又ハ各欄以外ノ欄ヲ設ケルコトヲ得

四 部隊隊長欄ニ部隊長ノ氏名ヲ記入ス

五 事業ノ種類欄ニ例ハ兵器製造、製紙、化學工業、被服製造、兵器、手入、罐詰、製造等ヲ記入スハシニ種以上ノ事業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ主要ナル事業名ヲ記入ス

六 職工數欄ニ最近ノ調査ニ依ル員數ヲ記入ス

七 事故發生場所欄ニ事故ノ發生シタル場所ニ於テ行ハル作業ノ性質ヲ明示シ得ル名稱ヲ記入ス

八 當日被害者ノ作業開始時刻欄ニ被害者ノ當日作業ヲ開始シタル時刻(前日ヨリ引續キ夜業ヲ爲セル場合ニ於テハ前日ノ開始時刻)ヲ記入ス

九 死傷者欄中

(一) 業務又ハ職名欄ニ被害者ノ擔當業務又ハ職名ヲ記入ス

(二) 雇入年月欄ニ當該工場ニ於テ被害者ヲ雇入タル年月ヲ記入ス

(三) 賃金額欄ニ被害者ノ日給(稼高)場合其他收入一定ナル場合ニ於テハ最近ニ於ケル通常一日ノ賃金額)ヲ記入ス

(四) 被害部位及症狀欄ニ例ハ頭部打撲、左臍骨折、左第三指及第四指挫傷、電撃、腹部火傷、瓦斯中毒、窒息等ヲ記入ス

(五) 死亡日時又ハ休業見込日數欄ニ死亡シタル者ニ付テハ死亡ノ日時、生命危篤者付テハ其旨、其他者付テハ治療ノ爲ニ休業シタル日數ト其後ノ休業見込日數ト、合算日數ヲ記入ス

十 災害ノ原因及發生狀況欄ニ災害發生前ノ被害者ノ動作、操作、災害發生位置ノ高サ又ハ深サ、災害力機械又ハ設備ニ依リテ發生シタル場合ニ於テハ其ノ大サ、能力、高サ、壓力、電壓又ハ溫度其他災害ノ原因及狀況ヲ明瞭ナラシムルニ必要ナル事項ヲ擧ゲテ其ノ顛末ヲ記載ス但シ動力ニ依リ運轉中ノ機械又ハ動力傳導裝置ニ依リ災害ヲ發生シタルトキ左方ノ記入欄ニ記入スル場合ニ於テハ其ノ機械又ハ動力傳導裝置ニ付テハ簡略ヲ記入ス

様式第三六 工場災害事故報告注意一ノ各號ニ該當スル事故ニ因リ死亡シタル者ハ治療ノ爲ニ休業三日以上ヲ要スル者ヲ生シタルトキハ其ノ原因ヲ簡略ニ記載シ該工場災害事故報告トノ關係ヲ明ニス

十一

動力ニ依リ運轉中ノ機械又ハ動力傳導裝置ニ依リ災害發生シタルトキ記入ス事項欄中(一) 名稱欄ニ機械又ハ動力傳導裝置ノ名稱(例ハ蒸気機關、旋盤、圓鋸機、車軸、調帶等)ヲ記入ス

(二) 大サ又ハ能力欄ニ機械又ハ動力傳導裝置ノ大サ又ハ能力(例ハ何馬力、長サ何米、直徑何種、幅何種、厚サ何種等)ヲ記入ス

(三) 災害ヲ生シタル部分欄ニ例ハ曲柄、齒輪、鋸齒、車軸接合、調帶、調帶車等ヲ記入ス

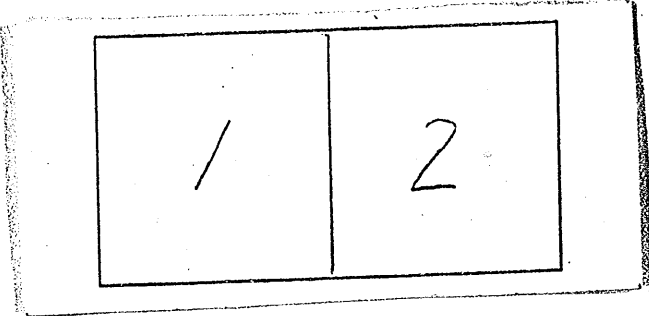

(四) 其ノ部分ノ速度、大サ等欄ニ迴轉數何種、輪周速度何米、長サ何米、幅何種、厚サ何種等ヲ記入ス

十二 危害豫防裝置ノ狀況欄ニ災害ノ發生セル機械、設備其他ノ場所ニ危害豫防裝置(例ハ高サ何米、木製柵圍、何種ノ真鍮丸棒ヲ使用セル高サ何米ノ手欄、金網製柵蓋、機械運轉中ハ開カサル様危險部ヲ蔽ハル等)アルトキハ之ヲ記入ス

十三 災害原因及發生狀況又ハ危害豫防裝置ノ狀況其他ニ關シ本欄中ニ記載シ難キトハ別紙ニ記載シ添付ス

十四 災害原因及發生狀況又ハ危害豫防裝置ノ狀況ニ關シテ成ルヘク寫真又ハ見取圖ノ類ヲ添付ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>5 年 9 月 17 日</p> <p>主務者又は</p> <p>撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

工場災害事故報告

災害ノ原因及發生状況	事業ノ種類	部隊名	部 所 在 地	事故發生 日 時	事故發生 年 月 日 午前 午後 時 分	部隊長		
		職工數	男 女	計	計			
被害ノ状況		被害者數	死 傷 者	性 別	死 亡 者	二週以上ノ休業ヲ要スル者	其ノ他ノ傷者	計
被害ノ原因		被害建物ノ種類	坪	數	損害見積金額	防 止 設 置 状況	避 難 設 置 状況	備 考
被害ノ種類		機械、設備等ノ損害						
被害ノ種類		原料、材料、製品等ノ損害						
被害ノ種類		災害ニ因ル作業休止ノ損害						

注意

一 本報告、陸軍職工規則適用部隊、工場及其附属建設物内ニ於テ左ニ掲グル事故發生シタル場合當該部隊長ニテ調製シ規程筆條ノ提出部隊ヲ經テ二通提出スルモトス

- (一) 火災又ハ爆發
- (二) 汽罐其他内壓力ヲ有スル容器ノ破裂
- (三) 勢輪又ハ高速廻轉機ノ破裂
- (四) 起重機又ハ昇降機ノ鎖若ハ索、切斷又ハ起重機ノ梁若ハ支柱ノ折損
- (五) 工場、附属建設物、煙突又ハ高架槽、倒壞
- (六) 其他一時三五人以上ノ死傷者ヲ生シタル事故

- 二 災害事故一件毎ニ用紙ヲ別ニス
- 三 本報告ノ各欄ノ間隔ハ之ヲ伸縮シ、各欄内ニ別ニ欄ヲ設ケ又ハ各欄以外ノ欄ヲ設ケルコトヲ得
- 四 部隊長欄ニハ部隊長ノ氏名ヲ記ハス
- 五 事業ノ種類欄ニハ例ヘハ兵器製造、製紙、化學工業、被服製造、兵器手入、鑄造製造等ヲ記ハス
- 六 職工數欄ニハ事故發生當時ノ現在員ヲ記ハス
- 七 事故發生場所欄ニハ事故ノ發生シタル場所ニ於テ行ハルル作業、性質ヲ明示シ得ル名稱(例ヘハ汽罐室、熔接作業場、硝化作業室、原料煮熱釜、鑄込場、脱水作業場等)ヲ記入シ倉庫ノ場合ニ於テハ其ノ倉庫ニ格納セラルル物品ヲ明示シ得ル名稱(例ヘハ綿火倉庫、石油貯藏庫等)ヲ記ハス
- 八 災害原因及發生状況欄ニハ左ノ各號ニ從ヒ記載ス

1510

- (一) 火災ノ場合ニ於テハ、發火ノ原因、第一次ニ火氣ヲ傳播セシメタル物品ノ名稱、數量、狀態等及之關係セル機械又ハ設備、作業、操作、其他原因及發生状況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ舉ケ其ノ類末ヲ記載ス(シ尙消火筒筒管、消火栓ヲ使用シタル以前ニ消火ノ為取リタル措置アラハ其ノ狀況ヲ記載ス)
- (二) 爆發ノ場合ニ於テハ、爆發シタル物品ノ名稱、數量、爆發ノ原因、爆發ニ關係アル機械、設備、作業操作、其他爆發ノ原因及狀況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ舉ケ其ノ類末ヲ記載ス
- (三) 汽罐其他内壓力ヲ有スル容器ノ破裂ノ場合ニ於テハ、其ノ種類、型式、使用ノ目的、製造年月、寸、常用壓力、付属壓力計ノ容量、安全弁ノ種類及口徑、破裂當時ノ使用壓力、水壓試驗ヲ行ヒタルモノニ付テハ其年月及試驗壓力、災害事故ニ關係アル作業、操作其他原因及發生状況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ舉ケ其ノ類末ヲ記載ス
- (四) 勢輪又ハ高速廻轉機ノ破裂、場合ニ於テハ、勢輪又ハ高速廻轉機ノ種類、其ノ使用ノ目的、構成材料、大

- (一) 汽機其他内壓力有スル容器ノ破裂
- (二) 勢輪又ハ高速廻轉機ノ破裂
- (三) 起重機又ハ昇降機ノ鎖若ハ索ノ切斷又ハ起重機ノ梁若ハ支柱ノ折損
- (四) 工場、附屬建設物、煙突又ハ高架槽ノ倒壊
- (五) 其他一時ニ五人以上ノ死傷者ヲ生シタル事故

二 災害事故一件毎ニ用紙ヲ別ニス

三 本報告ノ各欄ノ間隔ハ之ノ伸縮シ、各欄内ニ別ニ欄ヲ設ケ又ハ各欄以外ノ欄ヲ設ケルコトヲ得

四 部隊長欄ニハ部隊長ノ氏名ヲ記入ス

五 事業ノ種類欄ニハ例ヘハ兵器製造、製絨、化學工業、被服製造、兵器手入、鑄造製造等ヲ記入ス

六 職工數欄ニハ事故發生當時ノ現在員ヲ記入ス

七 事故發生場所欄ニハ事故ノ發生シタル場所ニ於テ行ハルル作業ノ性質ヲ明示シ得ル名稱(例ヘハ汽機室、熔

接作業場、硝化作業室、原料熱蒸室、鑄造場、脫水作業場等)ヲ記入シ倉庫ノ場合ニ於テハ其ノ倉庫ニ格納セラルル物品ヲ明示シ得ル名稱(例ヘハ綿火倉庫、石油貯藏庫等)ヲ記入ス

八 災害原因及發生状況欄ニハ左ノ各號ニ從ヒ記載ス

(一) 火災ノ場合ニ於テハ、發火ノ原因、第一次ニ火氣ヲ傳播セシメタル物品ノ名稱、數量、狀態等及之ノ關係セル機械又ハ設備、作業、操作、其他原因及發生狀況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ擧ケ其ノ顛末ヲ記載スシ向消火筒筒若ハ消火栓ヲ使用シタル以前ニ消火ノ為取リタル措置アラハ其ノ狀況ヲ記載ス

爆發ノ場合ニ於テハ爆發シタル物品ノ名稱、數量、爆發ノ原因、深設ニ關係アル機械、設備作業操作其他爆發ノ原因及狀況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ擧ケ其ノ顛末ヲ記載ス

(二) 汽機其他内壓力有スル容器ノ破裂ノ場合ニ於テハ其ノ種類、型式、使用ノ目的、製造年月、寸、常用壓力、附屬壓力計ノ容量、安全弁ノ種類及口徑、破裂當時ノ使用壓力、水壓試驗ヲ行ヒタルモノニ付テハ其ノ年月及試驗壓力、災害事故ニ關係アル作業、操作其他原因及發生狀況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ擧ケ其ノ顛末ヲ記載ス

(三) 勢輪又ハ高速廻轉機ノ破裂ノ場合ニ於テハ勢輪又ハ高速廻轉機ノ種類、其ノ使用ノ目的、構成材料、寸、直徑、厚サ等、常用廻轉數、災害發生當時ノ廻轉數其他原因及發生狀況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ擧ケ其ノ顛末ヲ記載ス

(四) 起重機又ハ昇降機ノ鎖若ハ索ノ切斷シタル場合ニ於テハ其ノ常用荷重及事故發生時ノ荷重、事故ノ惹起シタル部分(鎖索、梁又ハ支柱)ノ構造、材料、寸及製造年月其他原因及發生狀況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ擧ケ其ノ顛末ヲ記載ス

(五) 工場、附屬建設物、煙突、高架槽、倒壊ノ場合ニ於テハ例擧、直接原因(風、地震等)、被害物件ノ構造、材料、構造、缺陷、構造年月其他原因及發生狀況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ擧ケ其ノ顛末ヲ記載ス

(六) 五人以上ノ死傷者(職工以外ヲ含ム)ヲ生シタル場合ニ於テハ前各號ニ依リ災害事故ノ原因及發生狀況ヲ明ニスルニ必要ナル事項ヲ擧ケ其ノ顛末ヲ記載ス

九 前項ノ記載ニハ成ルルハ寫眞又ハ見取圖ノ類ヲ添付ス

十 死傷者數欄ニハ職工タルト否トニ拘ラス該當欄ニ記入ス

十一 災害ニ依リ被害欄ニハ被害建物ノ損害ハ其ノ種類別ニ(例ヘハ木造二階建、石造平屋建、木骨亞鉛引鐵板張平屋建等)坪數(坪)及其ノ損害見積金額ヲ記入シ機械、設備等ノ損害、原料、材料、製品等ノ損害又ハ倉庫ニ依リ作業停止ノ損害ハ各總見積金額ヲ記入ス

十二 消防施設狀況欄ニハ火災ニ對スル消火防火ノ施設(例ヘハ自動撒水裝置、消火筒、消火栓、消火器具等)ノ種類及設置狀況又ハ防火壁ノ構造、防火戸等ニハ其ノ構造ノ特ニ發火ノ場所ニ於ケル施設狀況ヲ明ニスル爆發ニ在リテハ爆發ヲ起シタル場所ノ特ニ牆壁、圓壁、其他防禦施設アラハ之ヲ記載ス

十三 避難施設狀況欄ニハ出入口、昇降口、避難口、階段等ノ構造、扉ノ開閉等ノ不良ナリシ為避難ニ支障ヲ生シタル場合ニ於テハ其ノ構造ノ記載ニ從ヒ避難設備トシテ設ケラレタルモノアラハ種類及設置ニ付記載ス

十四 災害原因及發生狀況、豫防ノ建議狀況其他ノ欄ニ本欄ニ記載シ得キトキハ別紙ニ記載シ添付ス

様式雅第一號

軍人人員表
ハ起案中

何年
何月
何部(隊)軍人平均一日人員表

考備	總計	學校		衛官		隊		軍		部		合計
		計	何學校	計	何要塞司令部	計	何兵何聯隊	師團司令部	何兵何旅團司令部	將校	准士官	
										同相當官	准士官	
										准士官	下士官	
										兵	兵	
										計	下士官	

注意

- 一本表ハ規程第三條ノ部隊ニ於テ之ヲ調製スルモノトス
- 二部隊欄ニハ各官衙(支那支廠製造所アルモノハ各別ニ)各軍隊(軍司令部及陸軍平時編制第五條乃至第八條ノ部隊及憲兵隊)各學校ヲ列記ス
- 三平均一日人員ハ一月ノ延人員ヲ其月ノ日數ニテ除シテ算出ス但シ小數第ニ位ヲ四捨五入ス
- 四入校分遣派遣中ノ者ハ原所屬隊ニ於テ計上スルトオク學校及分遣若ハ派遣ヲ受ケタル部隊ニ於テ計上ス又本屬以外ノ陸軍部隊ニ於テ常時服務スルモノハ兼職ヲ有スル元帥副官及軍事參議官之ニ準テ人員ハ服務部隊ニ於テ計上ス
- 五旅行休暇中ノ者ハ本表ニ計上シ勤務演習中ノ者ハ本表ニ計上セズ


何 何學校卒業人員表

考 備	第何期士官候補生		計		何 何		何年度第一回 甲種學生	射擊手術		通信術		砲塔術		通信術		學生生徒區分	今年月	修業期	入學人員	修學間ノ増減	卒業人員							
	歩兵	騎兵	何	何	何	何		何	何	何	何	何	何	何	何							何	何	何	何	何	何	何
	何	何	何	何	何	何		何	何	何	何	何	何	何	何							何	何	何	何	何	何	何

注意

- 一本表ハ學校、憲兵練習所及陸地測量部修技所ニ於テ調製スルモノトス
- 二本表ハ曆年一年間ニ卒業シタル學生生徒ニ就キ其入學ヨリ卒業迄ノ事實ヲ記載ス
- 二本表式ハ記載例ナルヲ以テ學生生徒區分欄ハ各學校ニ於テ適宜之ヲ記載ス
- 同一名稱ノ學生生徒ニテ其修學ノ種類ヲ異ニスルモ、其兵種ヲ異ニスルモノ同一兵種ニ在リテモ適宜之ヲ細分スル例ハ陸軍士官學校ニ於テ砲兵科ノ野砲兵、山砲兵、野戰重砲兵及重砲兵、臼砲兵ニ區分スルカ如シ。並將校(又ハ上長官、士官)准士官、下士官、兵等ノ區別アルモノニ在リテハ學校令(條例)等ノホス所ニ從ヒ之ヲ區分ス又同一名稱同一種類ノモノニ在リテモ入學年月ヲ異ニスルモノハ第一回、第二回等ノ方法ニ依リ之ヲ別記ス
- 卒業人員中修學繼續者欄ハ員外學生等修學ヲ繼續スル者ノ人員ヲ記載シ更ニ其專攻科目(他ノ學校ニ入學スルモノニ在リテハ學校名共)ヲ備考ニ於テ説明スルニ陸軍砲工學校ニ於テ普通科ヲ終リ高等科ニ入ルモノハ各欄ニ記載ス
- 次期ハ編入、前期ヨリ編入及卒業人員中修學繼續者ノ三欄ハ之ヲ要セサル學校ニ在リテハ省略スルコトヲ得
- 病氣等ノ為某期間滯學シテ卒業シタルモノ(卒業見込ヲ以テ滯學中ノモノヲ含ム)ハ之ヲ一般ノ卒業人員中ニ合算ス
- 學校令(條例)ニ依リ召集シタルモノハ學生ニ準シ之ヲ記載ス
- 聽講生、外國人、留學者又ハ陸軍部外ノ修學者アリタルトハ學生生徒ニ準シ末尾ニ記載ス

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="459 465 1326 748"><tr><td data-bbox="539 479 783 734">1</td><td data-bbox="783 479 1027 734">2</td><td data-bbox="1027 479 1272 734">3</td></tr></table>	1	2	3
1	2	3		
分割撮影 した 理 由	A 3判以上のため			
<p data-bbox="279 1182 1321 1346">上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p data-bbox="384 1496 938 1576">5 年 9 月 17 日</p> <p data-bbox="544 1697 836 1756">主務者又は</p> <p data-bbox="539 1854 1433 1951">撮影立会者 加部東 保夫 </p>				

官報掲載事項報告

- 一 本報告ハ記例第一乃至第六ニ示ス事項及其他各部隊ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ該記例ニ依リ官報原稿用紙(昭和五年陸普第三六九一號)ニ記載シテ陸軍省官報報告主任ニ送付スルモノトス
- 二 本報告ヲ提出スルニ當リテハ第一葉ノ右下方欄外ニ主務者ノ認印ヲ捺シ且右上方ニ左ノ附箋ヲ附スルモノトス

官報掲載事項報告

年月日

部 隊 印

三 報告スヘキ事項、記例及注意事項左ノ如シ

成案ニ於テハ本記例以下六記例ヲ三十字詰ニ作ル

記例第一 軍隊、官衙、學校、設置又ハ移轉

〇	何	兵	第	何	聯	(大)	隊	設	置	(移	轉)	何	兵	第	何	聯	(大)	隊
ハ	何	日	何	日	何	日	何	日	何	日	何	日	何	日	何	日	何	日
シ	同	日	(何	月	何	日)	コ	リ	事	務	ヲ	開	始	セ	リ			

注意 一 假移轉ノ場合ニ依リテハ假移轉ナルコトヲ明記シ要スレハ其ノ豫定期間ヲ

モ附記シ又舊位置ニ復歸シタルトキハ移轉ト區別スルヲ「假移轉中ノ處復歸」ナルコトヲ明記スルモノトス

記例第二 學生入校(修業員入隊)

〇	學	生	入	校	(修	業	員	入	隊)	左	記	何	人	陸	軍	何	學	校
ハ	入	隊	七	リ														
										何	學	生						
										官								
										官								
										同								
										官								
										官								
										氏								
										氏								
										氏								
										氏								
										名								
										名								
										名								
										名								

注意 一 本報告ハ學校、憲兵練習所ニ入學シタル將校同相當官及士官ト爲ルヘキ准

士官、下士官學生及修業員トシテ軍隊ニ分遣シタル將校ヲ報告ス但シ陸軍大學校學生、同專科學生及陸軍經理學校用種學生ヲ除ク

二 一種ノ學生ノミニ付報告スルトキハ本文中ニ「陸軍何學校何學生」ト記載シ氏名肩書「何學生」ハ之ヲ省ク

三 學校令(條例)ニ依リ召集セル者及特別ノ規定若ハ令達ニ依リ入校セル者等ニシテ將校同相當官學生ニ準スヘキ者ハ本記例ニ準シ報告ス

記例第三 學生、生徒卒業(修業員退隊)

〇	學	生	(生	徒)	卒	業	(退	隊)	修	業	員	退	隊)	陸	軍	何	學	校
リ	校	學	生	左	記	何	人	修	業	終	了	二	付	何	日	退	校	也

1520

保存期限		決裁指定		決行指定		牛島	
受領番		件名		大臣委			
貳第 一四八八 號		陸軍報告規程ニ依ル報告提出ノ件		局長			
起元應(課)名		官		房			
房官巨大		主務局		大臣委			
了結		領受		提出		領受	
昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		昭和 九年 十一月 一日		昭和 年 月 日	
(裁決)行決		連		局長			
覽回後		帶		局長			
長局		長局		局長			
長課		長課		局長			
主務局長		高級副官		牛島			
主務課長		主務副官		官房御用掛			
主務課員		書記官		主務課員			
		審案		書記官			

政務次官回付 決裁前連帶 課名



決行(決裁)後 回覽課名

局長

房

副官ヨリ第三第七第十六師團及関東軍

参謀長へ通牒(関東軍ヲ除キ留守部經由)

陸軍報告規程事務報告左記ニ表ハ同規程第六
條ノ規定ニ拘ラス之ヲ提出セラレ度依命通牒ス

左記

第三十表

第三十一表

現役兵青年訓練^{程度}調査表

圖書第六六二二號

昭和九年十二月二日



目 録

副官より陸軍工廠へ通牒

(甲)

陸軍報告規程中左記ノ通改正セラレタルニ付依命通牒ス

左記

陸軍報告規程表式記例目次中

「現役兵青年訓練程度調査表」 第三十表 令定期後半日表ヲ

「現役兵青年訓練程度調査表(甲)」 第三十表 令定期後半日表

「現役兵青年訓練程度調査表(乙)」 第三十表 令定期後半日表

第三十表ヲ別表ノ如ク改メ第三十一表ヲ別表ノ如ク定ム

陸軍第六四三七號 昭和九年十月廿六日



徵集課
主管

第五表(年報)昭和何年徵集(前期)現役兵青年訓練程度調査表

師團司令部
臺灣軍司令部
陸軍司令部

計	歩兵	戦車兵	騎兵	砲兵	工兵	航空兵	輸重兵	兵科部	
								人員	入管總
								(甲) 入管總人員	(乙) 青年訓練程度調査表
								證又證明書ヲ有スル者	證又證明書ヲ有スル者
								計	計
								(丙) 青年訓練又ハ學校教練ヲ受ケタル者	(丁) 青年訓練又ハ學校教練ヲ受ケタル者
								修シ證又證明書ヲ有セタル者	修シ證又證明書ヲ有セタル者
								計	計
								又ハ學校又ハ向上	又ハ學校又ハ向上
								者	者

備考

注意

- 一 本表「青年訓練」ニハ兵役法施行令第三條第三項ノ規定依リ青年訓練所ノ訓練ト同等以上ト認定セラレタル訓練ヲ含ムモノトス
- 二 (乙)欄ノ人員ハ歩兵在リテハ學校教練及青年訓練修了者檢定規程附録第四様式(青年訓練修了者檢定調査表)ノ檢定合格者及不合格者ヲ合計シタル人員ト一致スハキモノトス
- 三 (丁)欄ノ學校教練ヲ受ケタルモノヲ修了セサル者ハ尋常小學了校卒業ヲ↑入學資格トスル學校ノ第二學年程度以上ノ教練ヲ修メタルモノニ限リ
- (ロ)欄ニ其ノ下ノモノヲ (イ)欄ニ格別ヲ附シ別記スルモノトス

改正理由

一 年報第三十表ニ於テハ青年訓練並ニ學校教練ヲ修了シタル者ハ(乙)欄ニ合計セラレアリテ之ヲ別々ニ調査スルヲ得ス且(丙)欄ノ區分微細ニ過キ却テ事務ノ繁雜ヲ来スニ由ル

二 従来入營者、青年訓練及學校教練府縣別ノ情况ハ全然判明セサリシヲ今般之ヲ調査シ青年訓練指導上ノ資料タラシメントスルニ由ル

陸

軍

副官ヨリ各師團(第三、第七、第十六ハ留守)各軍

(關東軍、支那駐屯軍ヲ除ク)參謀長、陸軍

大臣直轄官衙學校ノ長、參謀本部及教育總

監部庶務課長、警備參謀長ハ通牒

陸軍報告規程ハ近ク改正セラレ本年十二月一日ヨリ施行

セララルル筈ニ付用紙ノ印刷準備等ニ關シ之ヲ顧慮

セラレ度爲念通牒ス

陸軍第五四八三號

昭和九年九月十五號



陸軍部隊一覽表

(昭和八年十月)

在		東京		地方	
大臣官房	參謀本部	教育總監部	東京警備司令部	運輸部	
人事局(二課)	東京警備司令部	第一師團			
軍務局(五課)	衛師團	載仁親王			
整備局(二課)	第一師團	子爵上原勇作			
兵器局(二課)		守正王			
經理局(四課)		大將南次郎	第二師團		
醫務局(二課)		渡邊錠太郎	第三師團		
法務局		同 林 銑子郎	第四師團		
軍事調査委員(附置班)		同 眞崎甚三郎	第五師團		
高等軍法會議		同 向部信行	第六師團		
造兵廠			第七師團		
兵器本廠			第八師團		
航空本部			第九師團		
技術本部			第十師團		
(科學研究所)			第十一師團		
(工科學校)			第十二師團		
憲兵司令部			第十三師團		
軍馬補充部本部			第十四師團		
築城部本部			第十五師團		
經理學校			第十六師團		
軍醫學校			第十七師團		
獸醫學校			第十八師團		
千住製絨所			第十九師團		
糧秣本廠			第二十師團		
被服本廠			第八師團司令部留守部		
衛生材料廠			第十師團司令部留守部		
			第十四師團司令部留守部		
			朝鮮軍		
			臺灣軍		
			關東軍		
			支那駐屯軍		
侍從武官府					
軍用鳩調査委員					